

多 気 町 公 共 施 設 等 総 合 管 理 計 画
個 別 施 設 計 画

令和 3 年 3 月
多 気 町

目 次

第1章 計画の目的等	1
第2章 対象施設	3
第3章 計画期間	4
第4章 計画の基本的な方針	5
第5章 施設類型別個別施設計画	10
5-1 行政系施設	10
5-2 学校教育系施設	15
5-3 子育て支援施設	24
5-4 保健・福祉施設	30
5-5 町民文化系施設	36
5-6 社会教育系施設	46
5-7 スポーツ・レクリエーション系施設	51
5-8 公営住宅施設	59
5-9 実施計画まとめ	65

第1章 計画の目的等

1-1 計画策定の背景と目的

多気町（以下「本町」という。）が保有する建築物や道路、橋梁、上下水道などの公共施設（以下「公共施設等」という。）は、老朽化が進んでおり、厳しい財政状況が続くなか、今後多額の維持・修繕及び更新費用が必要となることが予測されます。

国においては、平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議）を策定し、地方公共団体においても行動計画及び個別施設ごとの具体的な対応方針を定める個別施設計画を策定することとされました。

平成26年4月には総務省より地方公共団体版の行動計画となる「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」が示され、地方公共団体において、公共施設等の現況を把握するとともに、総合的・計画的な管理に関する基本的な方針などを定める計画の策定が求められました。本町においては、長期的な視点で公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に進めるための指針となる「多気町公共施設等総合管理計画」を平成29年3月に策定したところです。

多気町公共施設等総合管理計画個別施設計画（以下「本計画」という。）は、「インフラ長寿命化基本計画」に従い戦略的に維持管理・更新等を推進するため、「多気町公共施設等総合管理計画」に位置づけられた建築系公共施設を対象（土木系公共施設を除く）として、既存資料を活用しながら現状の評価を行い、ライフサイクルコスト、保全優先度を勘案して、今後の維持保全の方向性を検討し、各施設の長寿命化の方向性を整理することを目的とします。

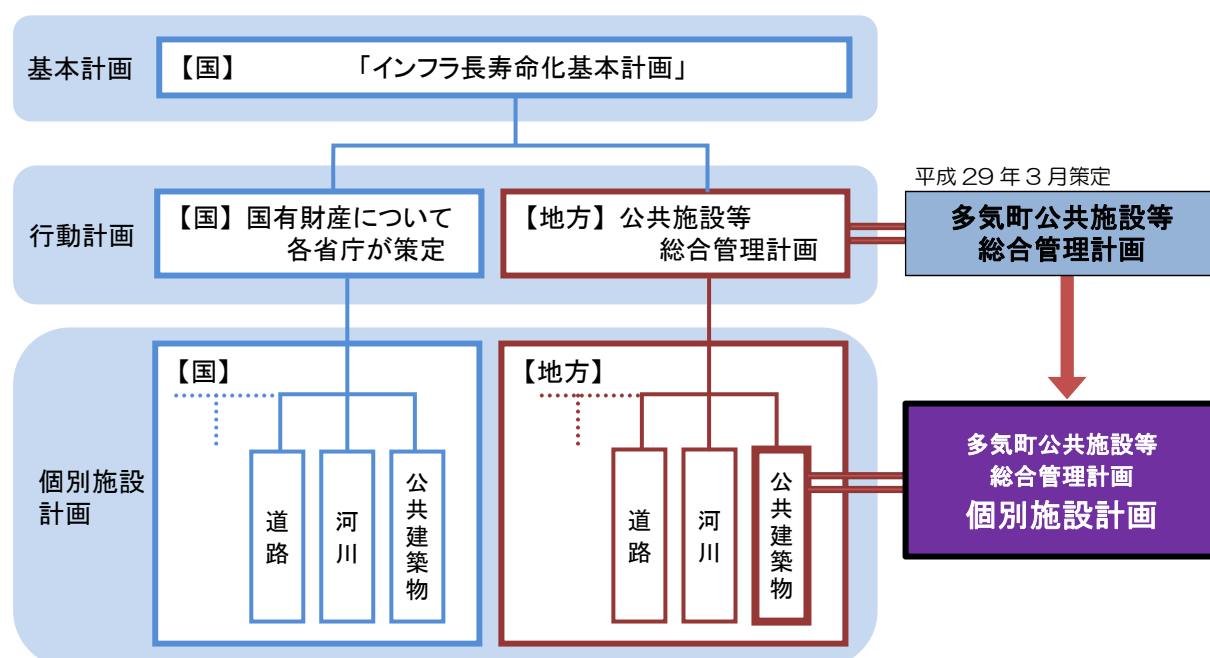


図. 各計画の関係

1－2 計画の位置づけ

本計画は、「多気町公共施設等総合管理計画」に基づき、建築系公共施設について、それぞれの施設ごとに維持管理・修繕・更新等を進めるための個別施設計画として位置づけられます。

なお、個別施設計画の策定に伴い、個別施設計画に記載した対策の内容等を公共施設等総合管理計画へ反映させるなど、公共施設等総合管理計画の不断の見直し・充実を図っていくものとします。

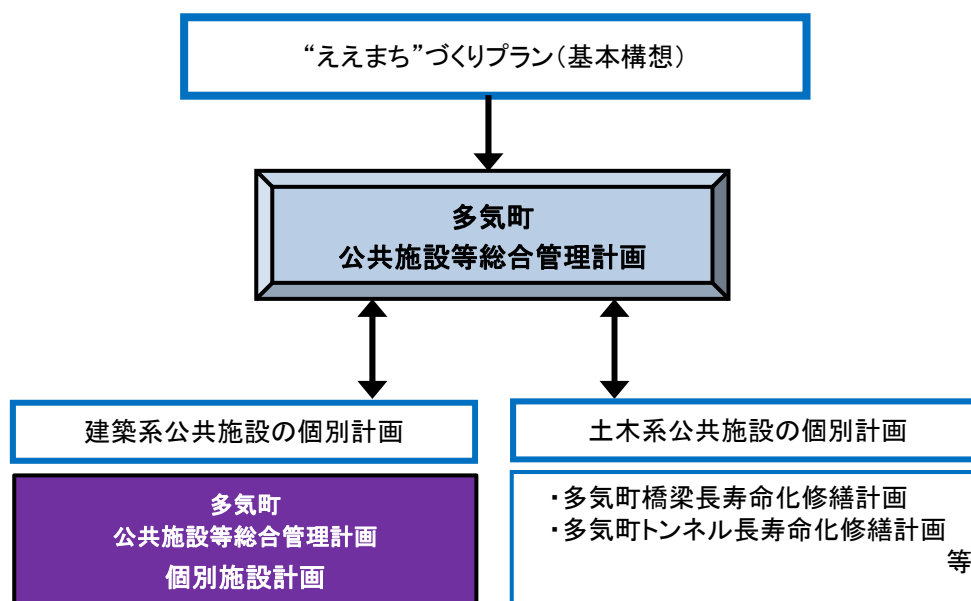


図. 計画の位置づけ

第2章 対象施設

本計画で対象とする施設は下表に示す 44 施設（74 棟）です。

施設類型(大分類)	中分類	施設名称	棟数	棟名称		
1. 行政系施設	庁舎等	1 役場庁舎	5	役場本庁舎 役場本庁舎(事務機器室増設部分) 役場本庁舎(子供スペース増設部分) 役場本庁舎(増築及び耐震補強) 役場本庁舎(厚生棟)		
		2. 学校教育系施設	学校	1 相可小学校	3	相可小学校校舎 相可小学校校舎(増築部分) 相可小学校体育館
				2 佐奈小学校	2	佐奈小学校校舎 佐奈小学校体育館
				3 津田小学校	3	津田小学校校舎 津田小学校校舎(増築部分) 津田小学校体育館
				4 外城田小学校	2	外城田小学校校舎 外城田小学校体育館
5 勢和小学校	3			勢和小学校校舎 勢和小学校校舎(増築部分) 勢和小学校体育館		
6 勢和中学校	3			勢和中学校校舎 勢和中学校体育館 勢和中学校技術棟		
その他教育施設	7 学校給食センター	2	学校給食センター 学校給食センター(増築部分)			
3. 子育て支援施設	保育 園・こども園	1 佐奈保育園	1			
		2 津田認定子ども園	1			
		3 西外城田保育園	1			
		4 勢和保育園	1			
		5 相可保育園	1			
	幼児・児童施設	6 子育て支援センター(おひさま)	1			
		7 たき児童館	1			
4. 保健・福祉施設	福祉施設	1 天啓の里	1			
		2 ささゆり苑	1			
		3 くすのき作業所	1			
5. 町民文化系施設	文化施設	1 町民文化会館	2	町民文化会館 町民文化会館楽屋増築		
		集会施設	2 相可公民館	2	相可公民館 相可公民館増築	
	3 佐奈公民館		1			
	4 津田公民館		1			
	5 外城田公民館		1			
	6 勢和東公民館		1			
	7 北弟国集会所		1			
	8 中朝長集会所		1			
	9 笠木集会所		1			
	10 前村集会所		1			
	11 三疋田集会所		1			
	12 平谷集会所		1			
	13 井戸谷集会所		1			
	14 色太集会所	2	色太集会所 色太集会所(施設改造及び増築部分)			
6. 社会教育系施設		1 ふるさと交流館せいわ	1			
		2 ふるさと交流館たき	1			
7. スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	1 農業者トレーニングセンター	1			
		2 勢和体育館	1			
		3 勢和東体育館	1			
		4 勢和台スポーツセンター(管理棟)	1			
	観光施設	5 五桂池ふるさと村	4	五桂池ふるさと村おばあちゃんの店 五桂池ふるさと村まごの店 五桂池ふるさと村ロッジ 五桂池ふるさと村動物ふれあい広場		
		6 ふれあいの森勢山荘	1			
		7 元丈の館(本館)	1			
8. 公営住宅施設	公営住宅	1 三疋田第一団地	5	三疋田第一団地A-1 三疋田第一団地A-2 三疋田第一団地B-1 三疋田第一団地C-1 三疋田第一団地C-2		
		2 三疋田第二団地	6	三疋田第二団地A-1 三疋田第二団地A-2 三疋田第二団地B-1 三疋田第二団地B-2 三疋田第二団地C-1 三疋田第二団地C-2		
		3 東池上団地	1	東池上団地		
		合計	44 施設	74 棟		

第3章 計画期間

本計画の上位計画である「多気町公共施設等総合管理計画」は計画期間を平成 29（2017）年度から令和 13（2031）年度までの 15 年間としています。

本計画の計画期間は長期的な視点が重要であることから、「多気町公共施設等総合管理計画」の計画期間を含み、令和 3（2021）年度から令和 42（2060）年度までの 40 年間とします。

但し、計画期間内であっても、対象となる施設の劣化状況や社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて見直すものとします。

第4章 計画の基本的な方針

(1) 多気町公共施設等総合管理計画（平成29年3月策定）の概要

①計画期間

計画期間は以下のように示されています。

- ・15年間（平成29年度から令和13年度まで）
- ・なお、期間内であっても、必要に応じて見直します。

②基本方針

公共施設等の管理に関する基本的な方針が以下のように示されています。

ア. 安全性の確保

- ・定期的な点検により、適切な維持管理や修繕を実施し、安全性を確保していきます。
- ・大規模な改修や更新時には、バリアフリー化やユニバーサルデザインなども検討します。
- ・安全性を十分に確保することが困難な施設、また、今後困難になると予想される施設については、その施設の設置目的、利用状況、費用などを総合的に見直し、更新や統廃合を検討していきます。

イ. 施設の長寿命化の推進

- ・計画的な診断・点検を実施し、それらを基に効果的な予防保全を行うことによって、施設を維持しつつ、長寿命化を図ることにより将来にわたる費用の削減を図っていきます。

ウ. 公共施設の省エネルギー化の推進

- ・公共施設の電気設備などについては、改修時や更新時に省エネルギー化についての検討を行い、エネルギー消費量・維持管理費の削減を図っていきます。

③数値目標

建築系公共施設の延床面積の削減目標が以下のように示されています。

- ・今後15年間で少なくとも10%以上の延床面積の削減を目標とします。

(2) 長寿命化への取り組み

①長寿命化の考え方

建物を長期的に使用していくには、安全で快適に使用できる状態に維持されていることが必要となります。今後は、損傷等が発生した後に修繕などを行う「事後保全型管理」から、計画的に保全や改築等を行う「予防保全型管理」へと転換していくものとします。

また、建物は、時間が経つにつれて経年劣化により物理的な不具合が生じるとともに、バリアフリー化や省エネルギー化など、現在求められている機能を満たせなくなっていくとします。建物を長寿命化する際は、物理的な不具合を直して建物の耐久性を高めることに加え、建物の機能を現在の社会状況の変化などに対応した水準まで引き上げます。

②目標使用（耐用）年数

公共施設の大規模改修や長寿命化工事を実施するにあたり、計画的に実施するには目標たる耐用年数の設定が必要となります。この耐用年数が、工事実施時期や施設の老朽化のおおよその目安の一つとなります。ここでは、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）を参考に、次表のとおり目標使用（耐用）年数を設定します。

表. 目標使用（耐用）年数

構造	法定耐用年数※ (庁舎・事務所・公民館等 の場合)	標準使用年数 (事後保全/従来型)	目標使用（耐用）年数 (予防保全/長寿命化型)
鉄筋コンクリート造 (RC 造)	50 年	60 年	80 年
鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC 造)			
鉄骨造 (S 造)	38 年	40 年	50 年
軽量鉄骨造 (LS 造)	30 年		
コンクリートブロック造 (CB 造)	41 年	60 年	80 年
木造 (W 造)	24 年	40 年	50 年

※法定耐用年数：財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和 40 年大蔵省令第 15 号）に定められた耐用年数（これは税務上減価償却費を算定するためのものであり、物理的な耐用年数はこれより長い）

＜参考＞公営住宅法……耐火構造の住宅 耐用年限 70 年
準耐火構造の住宅 耐用年限 45 年
木造の住宅 耐用年限 30 年

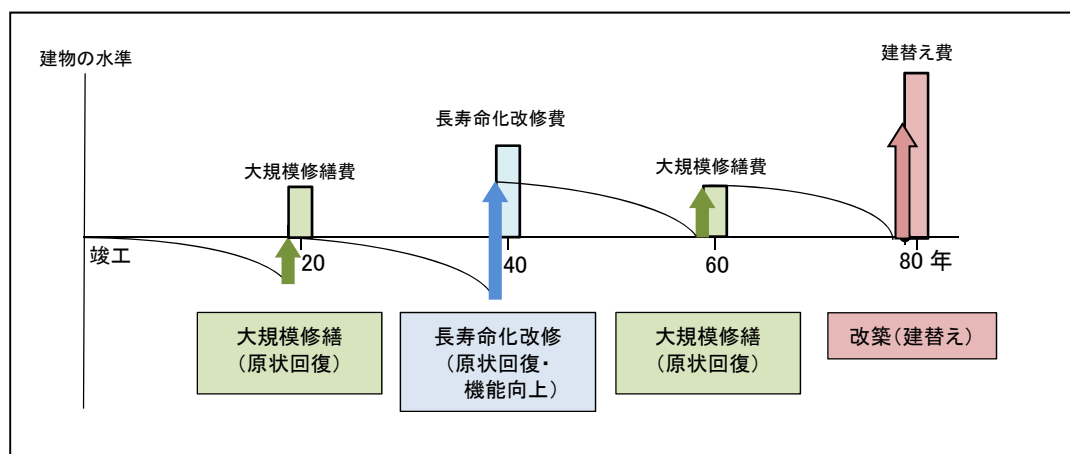


図. 修繕周期のイメージ(築 80 年まで使用する場合の例(RC 造・S 造 長寿命化型))

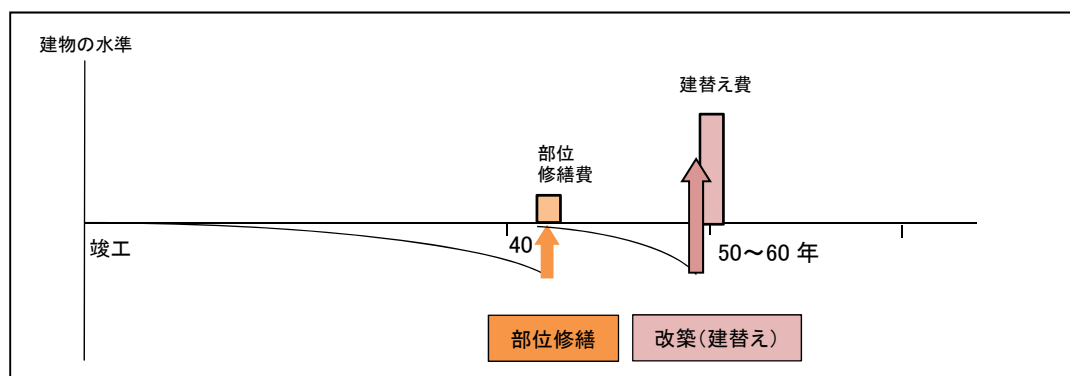


図. 修繕周期のイメージ(築 50～60 年で改築(建替え)する場合の例)

＜参考＞主な建物の耐用年数表

番号	用途名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
		鉄骨鉄筋 コンクリート	鉄筋 コンクリート	鉄骨 コンクリート	無筋 コンクリート	コンクリート ブロック	れんが 造	プレストレス コンクリート	プレキャスト コンクリート	土蔵造	鉄骨造	軽量 鉄骨造	木造
1	庁舎	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
2	事務所	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
3	倉庫・物置	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
4	自転車置場・置場	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
5	書庫	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
6	車庫	38	38	31	34	34	34	38	38	15	31	25	17
7	食堂・調理室	41	41	31	38	38	38	41	41	19	31	25	20
8	陳列所・展示室	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
9	校舎・園舎	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
10	講堂	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
11	給食室	41	41	31	38	38	38	41	41	19	31	25	20
12	体育館	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
13	集会所・会議室	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
14	公民館	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
15	保健室・医務室・ 衛生室	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
16	脱衣室・更衣室	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
17	保育室・育児室	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
18	案内所	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
19	寮舎・宿舎	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
20	洗場・水飲場	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
21	浴場・風呂場	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
22	便所	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
23	教習所・養成所・ 研修所	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
24	温室	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
25	小屋・畜舎	38	38	31	34	34	34	38	38	15	31	25	17
26	火葬場	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
27	葬祭所・斎場	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
28	霊安室・死体安置室	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
29	焼却場	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
30	塵芥集積所	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
31	処理場・加工場	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
32	監視所・観察所	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
33	滅菌室	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
34	濾過室	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
35	計量器室	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
36	ポンプ室	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
37	ボイラー室	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
38	配電室・電気室	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
39	住宅	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
40	住宅付属建物	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22

(出典：財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」(昭和40年大蔵省令第15号))

＜参考＞「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）

表. 建築物全体の望ましい目標耐用年数の級

用途 構造種別	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 レンガ造	木造
			重量鉄骨		軽量鉄骨		
	高品質 の場合	普通の品質 の場合	高品質 の場合	普通の品質 の場合	軽量鉄骨		
学校・官庁	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y60 以上
住宅・事務所・病院	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y40 以上
店舗・旅館・ホテル	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y40 以上
工場	Y40 以上	Y25 以上	Y40 以上	Y25 以上	Y25 以上	Y25 以上	Y25 以上

※表における「高品質」、「普通の品質」の区別は、耐久性の高低を示す

（出典：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会））

表. 目標耐用年数の級の区分の例

級	目標耐用年数		
	代表値	範囲	下限値
Y150	150 年	120 年～200 年	120 年
Y100	100 年	80 年～120 年	80 年
Y60	60 年	50 年～80 年	50 年
Y40	40 年	30 年～50 年	30 年
Y25	25 年	20 年～30 年	20 年

（出典：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会））



表. 目標耐用年数

	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨造	軽量鉄骨造	コンクリート ブロック造	木造
長寿命化型 目標使用年数	80 年		50 年	80 年	50 年
従来型 標準使用年数	60 年		40 年	60 年	40 年

※長寿命化を図る施設は該当する級に対して上限値を採用

従来型の施設は代表値を採用

③改修等の優先順位

改修等の優先順位については、先に示した修繕周期を基本として、施設の経過年数や劣化状況、また財政状況を勘案して設定するものとします。

劣化状況については令和元年度実施の劣化状況調査から判断するものとします。

▼D評価（早急な対応が必要）の部位を有する施設 → 今後5年以内を目途に部位修繕

▼C評価（広範囲に劣化）の部位を有する施設 → 今後10年以内を目途に部位修繕

※部位：屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備

＜参考＞劣化状況の評価基準と健全度の算定

■評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
劣化 D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

経過年数による評価
【内部仕上げ、電気設備、
機械設備】

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
劣化 D	経過年数に関 わらず著しい 劣化事象があ る場合

■健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標である。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を100点満点で算定する。なお、②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の7%分を、屋根・屋上、外壁に按分して設定している。

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度

$$\text{総和（部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分）} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

（健全度計算例）

	評価		評価点		配分	
1 屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	= 204
2 外壁	D	→	10	×	17.2	= 172
3 内部仕上げ	B	→	75	×	22.4	= 1,680
4 電気設備	A	→	100	×	8.0	= 800
5 機械設備	C	→	40	×	7.3	= 292
計						3,148
						÷ 60
						健全度 52

（出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省））

第5章 施設類型別個別施設計画

5-1 行政系施設

施設類型(大分類)	中分類	施設名称	棟数	棟名称
1. 行政系施設	庁舎等	1 役場庁舎	5	役場本庁舎 役場本庁舎(事務機器室増設部分) 役場本庁舎(子供スペース増設部分) 役場本庁舎(増築及び耐震補強) 役場本庁舎(厚生棟)

(1) 個別施設の状態等

①施設概要

▼行政系施設は「1.役場庁舎」(役場本庁舎)があります。築40年経過しており、また、増築も実施されています。

表. 施設概要

	建築年度	構造	階数	延床面積	耐震性	運営形態	備考
1.役場庁舎							
役場本庁舎	1977	RC	2	2,438.89㎡	有	直営	
事務機器室増設部分	1993	S	1	63.52㎡	有	直営	
子供スペース増設部分	1999	RC	1	47.98㎡	有	直営	
増築及び耐震補強	2007	RC	2	427.73㎡	有	直営	
合計				2,978.12㎡			
役場本庁舎(厚生棟)	1977	S	1	294.00㎡		直営	

②利用状況

—

③施設関連経費

▼施設関連経費は過去5年間の平均で約1,900万円(施設整備費を除くと約1,200万円)となっています。

表. 施設関連経費の推移

(千円)

	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	平均	備考
施設整備費	31,106	0	0	0	0	6,221	
その他施設整備費	0	0	0	0	0	0	
維持修繕費	1,492	1,390	1,034	2,829	3,731	2,095	
光熱水費・委託費等	10,517	10,123	10,233	10,341	10,232	10,289	
合計	43,115	11,513	11,267	13,170	13,963	18,606	
						(12,384)	施設整備費除く

④施設の状態

▼令和元年度実施の劣化状況調査から各施設の評価結果は下表の通りです。

▼劣化が進行していると判断されるC及びD評価に着目すると、築年数が40年以上経過している役場本庁舎（増設・増築部分除く）、役場本庁舎（厚生棟）において散見され、特に、役場本庁舎においては屋上・屋根と外壁がD評価であり、早期の修繕等が必要です。

▼事務機器室増設部分、子供スペース増設部分、増築及び耐震補強は、全ての部位がAあるいはB評価であり、良好な状態が保たれています。

表. 施設の状態

築年数は調査年の2019基準

施設名		構造	延床 面積 (㎡)	建築 年度	築年 数	劣化状況					健全度 (100点 満点)
						屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備	
1 役場庁舎	役場本庁舎	RC	2,438.89	1977	42	D	D	A	C	C	51
	事務機器室増設部分	S	63.52	1993	26	B	B	B	B	B	75
	子供スペース増設部分	RC	47.98	1999	20	A	A	A	A	A	100
	増築及び耐震補強	RC	427.73	2007	12	A	A	A	A	A	100
	役場本庁舎(厚生棟)	S	294.00	1977	42	C	C	C	C	C	40

A：概ね良好 B：部分的に劣化 C：広範囲に劣化 D：早急に対応
健全度：数値が小さいほど劣化が進んでいる

（2）今後の方針

①「多気町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）」における今後の方針

- ・本庁舎は町村合併後に耐震診断及び耐震補強工事を実施しています。災害時は地域の災害対策拠点として機能する施設であるため、施設内部の機能維持も重要です。
- ・本庁舎については、建築後 40 年が経過し、また、数回にわたり増築も実施していることから、それぞれの劣化状況を把握し、予防保全等により長寿命化を図ります。
- ・勢和振興事務所については、本庁へ機能の集約化が進んだことにより、余剰空間が増えてきています。今後は地域の窓口としての機能を維持しつつ、施設の規模や余剰空間の利用方法を検討したうえで、計画的な更新を検討していきます。

②今後の方針

- ▼「役場庁舎」（役場本庁舎）は適切な維持管理・修繕により長寿命化を図っていきます。
- ▼勢和振興事務所、勢和公民館を解体し、複合施設を建設します。
- ▼ごみ処理一元化により、美化センター焼却処理施設を廃止します。

表. 施設の位置づけ・今後の方針・対策内容・目標使用年数

	施設の位置づけ	今後の方針	対策内容	目標使用年数
1. 役場庁舎 (役場本庁舎)	・行政系施設の最重要拠点施設	・長寿命化	・適切な維持管理・修繕	今後 40 年以上

(3) 実施計画

①劣化状況評価と修繕費、改築費

▼令和元年度調査に基づく劣化状況評価（再掲）と修繕費、改築費（解体・新築費）を以下に示します。

表. 劣化状況評価と修繕費、改築費

施設名		劣化状況					修繕費はC・D評価のみ算出		改築費		
		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	修繕費		解体	新築	計
1 役場庁舎	役場本庁舎	D	D	A	C	C	(屋根・外壁)	129,847	134,024	1,465,706	1,599,730
	事務機器室増設部分	B	B	B	B	B	(電気・機械設備)※	91,726			
	子供スペース増設部分	A	A	A	A	A					
	増築及び耐震補強	A	A	A	A	A					
	役場本庁舎(厚生棟)	C	C	C	C	C	(屋根・外壁)	11,010	9,323	221,111	230,434
							(内部)	21,669			
							(電気・機械設備)※	9,055			

※：電気・機械設備の修繕費は＜面積×単価＞

（単価：「公共施設等更新費用試算ソフト」（総務省）、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」（文部科学省）の設定値）

②今後10年間の実施計画

▼直近5年を含む今後10年間に実施する修繕工事等と事業費を以下に示します。

▼基本的に劣化状況評価のD評価は今後5年以内を目途に、C評価は今後10年以内を目途に修繕を実施するものとします。

表. 今後10年間の実施計画

	2021 R3		2022 R4		2023 R5		2024 R6		2025 R7		2026～2030 R8～R12		
	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	備考
役場本庁舎									(屋根・外壁)修繕	129,847			
(増設・増築部分含む)											(電気・機械設備)修繕	91,726	
役場本庁舎(厚生棟)											(屋根・外壁)修繕	11,010	
											(内部)修繕	21,669	
											(電気・機械設備)修繕	9,055	
											小計	41,734	
役場本庁舎	維持修繕	1,000	維持修繕	1,000	維持修繕	1,000	維持修繕	1,000	維持修繕	1,000	維持修繕	5,000	各年1,000
合計		1,000		1,000		1,000		1,000		130,847		138,460	

▼令和4～5年度に勢和振興事務所、勢和公民館を解体し、複合施設を建設します。

	2021 R3		2022 R4		2023 R5		2024 R6		2025 R7		2026～2030 R8～R12		
	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	備考
勢和振興事務所			改築	162,000	改築	28,000							

▼美化センター焼却処理施設を廃止します。

	2021 R3		2022 R4		2023 R5		2024 R6		2025 R7		2026～2030 R8～R12		
	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	備考
美化センター									解体	400,600			

③実施計画

▼今後40年間の対策事業と費用の見通し（試算）を以下に示します。

＜試算条件＞

- ・既存施設を現状と同じ延床面積で修繕・改築した場合の試算
- ・修繕費、改築費については「①劣化状況評価と修繕費、改築費」で算出した費用を採用
- ・今後10年間（～2030）については「②今後10年間の実施計画」を参照
- ・築80年まで長寿命化を図るものとして試算

表. 今後40年間の対策事業と費用の見通し

（上段：部位修繕・大規模修繕・長寿命化改修・改築（建替え）／下段：対策費用 単位：千円）

	建築 年度	築 年 数	構 造	延床 面積 (㎡)	今後の 方針	～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	備考
						2021～2025 R3～R7	2026～2030 R8～R12	2031～2040 R13～R22	2041～2050 R23～R32	2051～2060 R33～R42	
役場本庁舎	1977	43	RC	2,439	長寿命化	(屋根・外壁) 修繕	(電気・機械 設備)修繕			(築80年)改築	今後40年以上 使用
事務機器室増設 部分	1993	27	S	64		129,847	91,726			1,599,730	
子供スペース増設 部分	1999	21	RC	48							
増築及び耐震補強	2007	13	RC	428							
役場本庁舎(厚生棟)	1977	43	S	294	長寿命化		(屋根・外壁・ 内部・電気・機 械設備)修繕			(築80年)改築	
							41,734			230,434	
合計						129,847	133,460	0	0	1,830,164	
施設関連経費(施設整備費除く)						61,920	61,920	123,840	123,840	123,840	過去5年平均より (内 維持修繕費 各年1,000)
総計						191,767	195,380	123,840	123,840	1,954,004	
						2,588,831				0.65億円/年	

※：勢和振興事務所は含まない

部位修繕：屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備

④今後40年間の対策費用とその効果

▼既存施設を単純更新した場合のコストと長寿命化対策した場合のコストを比較すると、長寿命化対策した場合の方が年約500万円削減できると試算できます。

表. 今後40年間の対策費用とその効果

(億円/年)

	現在 (過去5年平均)	今後40年間の経費		効果額 (削減額)
		既存施設を単純更新 した場合のコスト ※	長寿命化対策した 場合のコスト	
行政系施設	0.19	0.70	0.65	0.05

※：築概ね25年で大規模修繕
築概ね50年で改築

5-2 学校教育系施設

施設類型(大分類)	中分類	施設名称	棟数	棟名称
2. 学校教育系施設	学校	1 相可小学校	3	相可小学校校舎 相可小学校校舎(増築部分) 相可小学校体育館
		2 佐奈小学校	2	佐奈小学校校舎 佐奈小学校体育館
		3 津田小学校	3	津田小学校校舎 津田小学校校舎(増築部分) 津田小学校体育館
		4 外城田小学校	2	外城田小学校校舎 外城田小学校体育館
		5 勢和小学校	3	勢和小学校校舎 勢和小学校校舎(増築部分) 勢和小学校体育館
		6 勢和中学校	3	勢和中学校校舎 勢和中学校体育館 勢和中学校技術棟
	その他教育施設	7 学校給食センター	2	学校給食センター 学校給食センター(増築部分)

(1) 個別施設の状態等

①施設概要

- ▼学校教育系施設は小学校が5施設、中学校が1施設、学校給食センターが1施設あります。
- ▼旧耐震基準で建てられた建物のうち、校舎などの建物についての耐震化は完了していますが、築後かなり年数が経過しているものも多く、全体的に施設の老朽化が目立っています。

表. 施設概要

	建築年度	構造	階数	延床面積	耐震性	運営形態	備考
1. 相可小学校							
校舎	1971	RC	3	2,056.00㎡	有	直営	
増築部分	1997	S	2	521.92㎡	有	直営	
合計				2,577.92㎡			
体育館	1997	RC	1	873.50㎡	有	直営	
2. 佐奈小学校							
校舎	2006	RC	2	2,748.16㎡	有	直営	
体育館	1982	RC	1	680.00㎡	有	直営	
3. 津田小学校							
校舎	1971	RC	2	1,496.53㎡	有	直営	
増築部分	1987	S	2	104.02㎡	有	直営	
合計				1,600.55㎡			
体育館	1981	SRC	2	680.00㎡	有	直営	
4. 外城田小学校							
校舎	1989	RC	2	2,343.86㎡	有	直営	
体育館	1984	RC	1	680.00㎡	有	直営	
5. 勢和小学校							
校舎	1972	RC	3	2,758.84㎡	有	直営	
増築部分	1990	RC	3	361.80㎡	有	直営	
合計				3,120.64㎡			
体育館	2003	RC	1	900.56㎡	有	直営	
6. 勢和中学校							
校舎	1980	RC	3	3,354.65㎡	有	直営	
体育館	1994	RC	2	1,487.60㎡	有	直営	
技術棟	1980	S	1	286.38㎡		直営	
7. 学校給食センター							
学校給食センター	1999	S	1	574.50㎡	有	直営	
増築部分	2013	S	1	144.00㎡	有	直営	
合計				718.50㎡			

②利用状況

▼児童・生徒数の推移をみると、「相可小学校」、「勢和小学校」、「勢和中学校」はほぼ横ばいとなっていますが、「佐奈小学校」、「津田小学校」、「外城田小学校」が微減傾向で推移しており、児童・生徒数の減少が予想されます。

▼学校給食センターは、町内小中学校の全給食を調理し配送している施設です。

表. 児童・生徒数の推移

(人)

児童数・生徒数	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	備考
1.相可小学校	309	329	323	319	321	
2.佐奈小学校	116	111	110	96	77	
3.津田小学校	95	97	89	82	80	
4.外城田小学校	65	64	63	62	58	
5.勢和小学校	266	270	280	268	268	
6.勢和中学校	127	137	130	132	133	

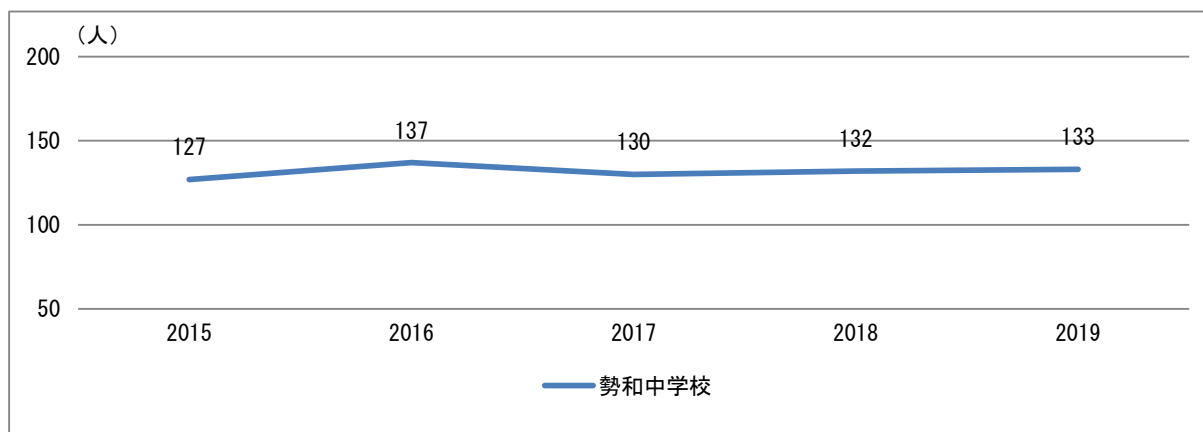
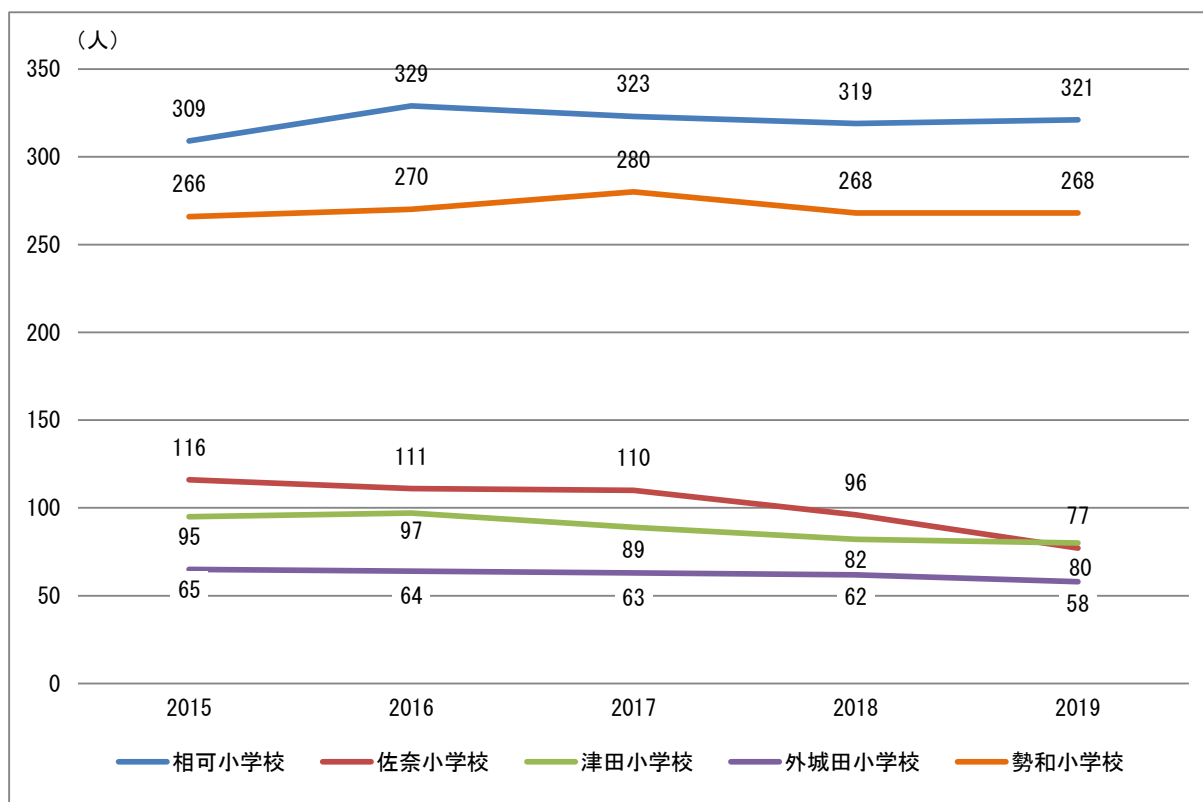


図. 児童・生徒数の推移

③施設関連経費

▼施設関連経費は過去5年間の平均で約6,800万円（施設整備費を除くと約5,700万円）となっています。

表. 施設関連経費の推移

(千円)

	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	平均	備考
施設整備費	10,822	0	0	39,636	3,330	10,758	
その他施設整備費	0	0	0	4,008	2,969	1,395	
維持修繕費	7,196	9,320	7,810	11,982	7,851	8,832	
光熱水費・委託費等	45,060	45,240	48,514	48,552	46,466	46,766	
合計	63,078	54,560	56,324	104,178	60,616	67,751	
						(56,994)	施設整備費除く

④施設の状態

▼令和元年度実施の劣化状況調査から各施設の評価結果は下表の通りです。

▼劣化が進行していると判断されるC及びD評価に着目すると、全体的に校舎を中心にC及びD評価が目立ちます。

▼D評価となっているのは、「津田小 校舎」の機械設備、「外城田小 校舎」の屋上・屋根、「勢和小 校舎」の機械設備、「勢和中 技術棟」の屋根・屋上と内部仕上げです。

▼劣化の特に著しいD評価の部位については早急な対応が必要です。

表. 施設の状態

築年数は調査年の2019基準

施設名	構造	延床面積 (㎡)	建築 年度	築年 数	劣化状況					健全度 (100点満点)
					屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備	
1 相可小学校	校舎	RC	2,056.00	1971	48	C	C	C	C	40
	増築部分	S	521.92	1997	22	B	B	B	B	75
	体育館	RC	873.50	1997	22	B	B	B	B	75
2 佐奈小学校	校舎	RC	2,748.16	2006	13	C	A	A	A	95
	体育館	RC	680.00	1982	37	B	A	B	B	82
3 津田小学校	校舎	RC	1,496.53	1971	48	C	C	C	A	44
	増築部分	S	104.02	1987	32	C	C	C	B	49
	体育館	SRC	680.00	1981	38	C	C	C	B	49
4 外城田小学校	校舎	RC	2,343.86	1989	30	D	C	B	B	59
	体育館	RC	680.00	1984	35	C	C	B	B	62
5 勢和小学校	校舎	RC	2,758.84	1972	47	C	C	C	C	36
	増築部分	RC	729.00	1990	29	C	B	B	B	72
	体育館	RC	900.56	2003	16	A	B	A	A	93
6 勢和中学校	校舎	RC	3,354.65	1980	39	C	C	C	B	49
	体育館	RC	1,487.60	1994	25	B	A	B	B	82
	技術棟	S	286.38	1980	39	D	C	D	C	26
7 多気町学校給食センター		S	574.50	1999	20	B	A	A	A	98
	増築部分	S	144.00	2013	6	A	A	A	A	100

A：概ね良好 B：部分的に劣化 C：広範囲に劣化 D：早急に対応

健全度：数値が小さいほど劣化が進んでいる

（2）今後の方針

①「多気町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）」における今後の方針

＜学校施設＞

- 本町には、5つの小学校と1つの中学校及び1つの一部事務組合立の中学校があります。校舎などの建物についての耐震化は完了していますが、建築後40年を越える小学校が3校あり一部事務組合立の多気中学校については建築後50年を超えています。また、少子化の影響により児童数・生徒数の減少している学校もあり、今後も減少が予想されます。そのような中、学校の統廃合については小学校児童の保護者等との意見交換会や中学校生徒の保護者等へのアンケート調査を実施しましたが、学校は地域とのつながりが強く、現在の児童・生徒数で議論するのは時期尚早との意見が多数でした。
- このようなことから、学校については定期的な点検及び予防保全により長寿命化を図りつつ、児童・生徒が安全な学校生活を送れるよう必要な措置を図ります。
- また、各学校の屋内運動場は災害発生時の町指定避難所にもなっているため、校舎と同様に、定期的な点検や修繕など必要な措置を図ります。
- これらの措置を図りつつ、今後、各学校の児童、生徒数の減少がさらに進み、各学校間で同じ教育が十分に行うことができなくなることが想定される場合は、地域住民・保護者等と一緒に、新しい小中学校のあり方について検討をしていきます。
- なお、一部事務組合立の多気中学校については、他校に比べ老朽化が進んでいますが、町の所有施設ではないため、組合構成市町の松阪市と協議のうえ、今後の施設更新について検討をしていきます。

＜多気学校給食センター＞

- 施設の主となる調理設備については、調理業務委託事業者への貸付を行っていますが、調理設備は児童・生徒への食の安全・安心に関わる施設であるため、本町が施設管理者として、定期的な点検を行い、調理業務委託事業者と連携しながら、維持管理及び施設・設備の長期利用を図ります。

②今後の方針

＜学校施設＞

- ▼各小中学校は定期的な点検及び適切な維持管理・修繕により長寿命化を図っていきます。
- ▼今後、児童・生徒数の減少がさらに進むと予想されるため、小中学校の在り方について検討していくものとします。
- ▼多気地域4つの小学校（「相可小学校」、「佐奈小学校」、「津田小学校」、「外城田小学校」）については統合も含めて小学校の在り方について検討していきます。

＜学校給食センター＞

- ▼「学校給食センター」は定期的な点検及び適切な維持管理・修繕により長寿命化を図っていきます。

表. 施設の位置づけ・今後の方針・対策内容・目標使用年数

	施設の位置づけ	今後の方針	対策内容	目標使用年数
1.相可小学校 2.佐奈小学校 3.津田小学校 4.外城田小学校	・義務教育を受けるうえで必要な施設 ・地域の核としても重要な役割	・長寿命化	・定期的な点検及び適切な維持管理・修繕を行い長寿命化を図る。 ・児童数の減少がさらに進むと予想されるため、多気地域4つの小学校統合も含めて小学校の在り方について検討していく。	今後 10～15 年
5.勢和小学校		・長寿命化	・定期的な点検及び適切な維持管理・修繕を行い長寿命化を図る。 ・児童数の減少がさらに進むと予想されるため、小学校の在り方について検討していく。	今後 15 年以上
6.勢和中学校		・長寿命化	・定期的な点検及び適切な維持管理・修繕を行い長寿命化を図る。 ・生徒数の減少がさらに進むと予想されるため、中学校の在り方について検討していく。	
7.学校給食センター	・町内小中学校の全給食を調理し配送している施設	・長寿命化	・定期的な点検及び適切な維持管理・修繕を行い長寿命化を図る。	今後 20 年以上

※多気中学校は別途計画を策定予定。

(3) 実施計画

①劣化状況評価と修繕費、改築費

▼令和元年度調査に基づく劣化状況評価（再掲）と修繕費、改築費（解体・新築費）を以下に示します。

表. 劣化状況評価と修繕費、改築費

施設名		劣化状況					修繕費はC・D評価のみ算出		改築費		
		屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備	修繕費		解体	新築	計
1 相可小学校	校舎	C	C	C	C	C	(屋根・外壁)	69,038	83,751	871,398	970,845
							(内部)	146,936			
							(電気・機械 設備)※	52,243			
	増築部分	B	B	B	B	B	—	—	15,696		
2 佐奈小学校	校舎	C	A	A	A	A	(屋根)	48,936	116,409	906,620	1,023,029
	体育館	B	A	B	B	B	—	—	33,281	167,211	200,492
3 津田小学校	校舎	C	C	C	A	D	(屋根・外壁)	59,082	68,101	556,402	624,503
							(内部)	109,729			
							(機械設備)※	18,273			
	増築部分	C	C	C	B	B	—	—			
4 外城田小学校	校舎	D	C	B	B	B	(屋根・外壁)	38,375	34,082	166,958	201,040
	体育館	C	C	C	B	B	(内部)	23,397			
5 勢和小学校	校舎	C	C	C	C	D	(屋根・外壁)	75,955	97,073	784,949	882,022
							(内部)	34,945			
							(電気・機械 設備)※	70,102			
	増築部分	C	B	B	B	B	—	—			
6 勢和中学校	校舎	C	C	C	B	B	(屋根・外壁)	89,547	136,374	1,151,073	1,287,447
							(内部)	227,721			
	体育館	A	B	A	A	A	(電気・機械 設備)※	70,102			
							—	—	43,595	220,440	264,035
7 多気町学校給食センター	校舎	C	C	C	B	B	(屋根・外壁)	160,505	130,891	1,110,406	1,241,297
							(内部)	178,707			
	技術棟	D	C	D	C	C	(屋根・外壁)	11,557	9,210	118,712	127,922
							(電気・機械 設備)※	7,277			
7 多気町学校給食センター	校舎	B	A	A	A	A	—	—	20,615	369,050	389,665
	増築部分	A	A	A	A	A	—	—			

※：電気・機械設備の修繕費は＜面積×単価＞

（単価：「公共施設等更新費用試算ソフト」（総務省）、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」（文部科学省）の設定値）

②今後10年間の実施計画

▼直近5年を含む今後10年間に実施する修繕工事等と事業費を以下に示します。

▼基本的に劣化状況評価のD評価は今後5年以内を目途に、C評価は今後10年以内を目途に修繕を実施するものとします。

表. 今後10年間の実施計画

(千円)

	2021 R3		2022 R4		2023 R5		2024 R6		2025 R7		2026～2030 R8～R12		
	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	備考
1.相可小学校校舎											(屋根・外壁)修繕	69,038	
増築部分含む											(内部)修繕	146,936	
											(電気・機械設備)修繕	52,243	
											小計	268,217	
体育館													
2.佐奈小学校校舎											(屋根)修繕	48,936	
体育館													
3.津田小学校校舎											(屋根・外壁)修繕	59,082	
増築部分含む											(内部)修繕	109,729	
											(電気・機械設備)修繕	18,273	
											小計	187,084	
体育館											(屋根・外壁)修繕	38,375	
											(内部)修繕	23,397	
											小計	61,772	
4.外城田小学校校舎											(屋根・外壁)修繕	75,955	
体育館											(屋根・外壁)修繕	34,945	
5.勢和小学校校舎											(屋根・外壁)修繕	89,547	
増築部分含む											(内部)修繕	227,721	
											(電気・機械設備)修繕	70,102	
											小計	387,370	
体育館													
6.勢和中学校校舎											(屋根・外壁)修繕	160,505	
											(内部)修繕	178,707	
											小計	339,212	
体育館													
技術棟							(屋根・外壁)修繕	11,557					
									(内部)修繕	12,986			
											(電気・機械設備)修繕	7,277	
7.学校給食センター													
増築部分含む													
合計								11,557		12,986		1,410,768	

(注) 3.津田小学校校舎：機械設備（D評価）…電気・機械設備のため10年以内に変更。

4.外城田小学校校舎：屋根（D評価）…屋根屋上も外壁工事と合わせて10年以内に変更。

5.勢和小学校校舎：機械設備（D評価）…電気・機械設備のため10年以内に変更。

③実施計画

▼今後40年間の対策事業と費用の見通し（試算）を以下に示します。

＜試算条件＞

- ・既存施設を現状と同じ延床面積で修繕・改築した場合の試算
- ・修繕費、改築費については「①劣化状況評価と修繕費、改築費」で算出した費用を採用
- ・今後10年間（～2030）については「②今後10年間の実施計画」を参照
- ・RC造等は基本的に築約20年で大規模修繕、築約40年で長寿命化改修、築約60年で大規模修繕、築約80年で改築として試算
- ・その他総務省が公開している「公共施設等更新費用試算ソフト」、文部科学省が公開している「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」と同様の条件・設定値で試算

長寿命化改修費（改築費×60%） 大規模改修費（改築費×25%）

表. 今後40年間の対策事業と費用の見通し

(上段: 部位修繕・大規模修繕・長寿命化改修・改築(建替え) / 下段: 対策費用 単位: 千円)

	建築年度	築年数	構造	延床面積(m ²)	今後の方針	～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	備考
						2021～2025 R3～R7	2026～2030 R8～R12	2031～2040 R13～R22	2041～2050 R23～R32	2051～2060 R33～R42	
1. 相可小学校校舎	1971	49	RC	2,056	長寿命化		(屋根・外壁・内部・電気・機械設備)修繕			(築80年)改築	今後10～15年使用
							268,217			970,845	
	増築部分	1997	23	S	522						
	体育館	1997	23	RC	874	長寿命化		長寿命化改修		大規模修繕	
								153,629		64,012	
2. 佐奈小学校校舎	2006	14	RC	2,748	長寿命化		(屋根)修繕		長寿命化改修		
							48,936		613,817		
	体育館	1982	38	RC	680	長寿命化			大規模修繕		
									50,123		
3. 津田小学校校舎	1971	49	RC	1,497	長寿命化		(屋根・外壁・内部・電気・機械設備)修繕			(築80年)改築	
							187,084			624,503	
	増築部分	1987	33	S	104						
	体育館	1981	39	SRC	680	長寿命化	(屋根・外壁・内部)修繕		大規模修繕		
							61,772		50,260		
4. 外城田小学校校舎	1989	31	RC	2,344	長寿命化		(屋根・外壁)修繕		大規模修繕		
							75,955		220,505		
	体育館	1984	36	RC	680	長寿命化	(屋根・外壁)修繕		大規模修繕		
							34,945		50,128		
5. 勢和小学校校舎	1972	48	RC	2,759	長寿命化		(屋根・外壁・内部・電気・機械設備)修繕			(築80年)改築	今後15年以上使用
							387,370			1,287,447	
	増築部分	1990	30	RC	729						
	体育館	2003	17	RC	901	長寿命化			長寿命化改修		
									158,421		
6. 勢和中学校校舎	1980	40	RC	3,355	長寿命化		(屋根・外壁・内部)修繕			(築80年)改築	
							339,212			1,241,297	
	体育館	1994	26	RC	1,488	長寿命化		長寿命化改修		大規模修繕	
	技術棟	1980	40	S	286	長寿命化	(屋根・外壁)修繕	(電気・機械設備)修繕	大規模修繕	(築80年)改築	
							11,557	7,277	31,981	127,922	
							(内部)修繕				
							12,986				

（上段：部位修繕・大規模修繕・長寿命化改修・改築（建替え）／下段：対策費用 単位：千円）

	建築 年度	築 年 数	構造	延床 面積 (㎡)	今後の 方針	～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	備考
						2021～2025 R3～R7	2026～2030 R8～R12	2031～2040 R13～R22	2041～2050 R23～R32	2051～2060 R33～R42	
7.学校給食センター	1999	21	S	575	長寿命化			長寿命化改修		大規模修繕	今後20年以上 使用
増築部分	2013	7	S	144				233,799		97,416	
合計						24,543	1,410,768	679,404	1,143,255	4,521,774	
施設関連経費(施設整備費除く)						284,970	284,970	569,940	569,940	569,940	過去5年平均より
総計						309,513	1,695,738	1,249,344	1,713,195	5,091,714	
						10,059,504					2.51億円/年

部位修繕：屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備

④今後40年間の対策費用とその効果

▼既存施設を単純更新した場合のコストと長寿命化対策した場合のコストを比較すると、長寿命化対策した場合の方が年約5,100万円削減できると試算できます。

表. 今後40年間の対策費用とその効果

	現在 (過去5年平均)	今後40年間の経費		(億円/年)
		既存施設を単純更新 した場合のコスト ※	長寿命化対策した 場合のコスト	効果額 (削減額)
学校教育系施設	0.68	3.02	2.51	0.51

※：築概ね25年で大規模修繕
築概ね50年で改築

5-3 子育て支援施設

施設類型(大分類)	中分類	施設名称	棟数	棟名称
3. 子育て支援施設	保育園・こども園	1 佐奈保育園	1	
		2 津田認定子ども園	1	
		3 西外城田保育園	1	
		4 勢和保育園	1	
		5 相可保育園	1	
	幼児・児童施設	6 子育て支援センター(おひさま)	1	
		7 たき児童館	1	

(1) 個別施設の状態等

①施設概要

- ▼子育て支援施設は保育園が5施設、子育て支援センター（子育て支援センター（おひさま））が1施設、児童館（たき児童館）が1施設あります。
- ▼「子育て支援センター（おひさま）」は、勢和地域の子育て支援センターであり、平成23(2011)年に旧勢和中央保育園を減築改修したものです。
- ▼「たき児童館」は、地域子育て拠点事業、利用者支援事業、放課後児童クラブ事業等を実施しており、町の子育ての拠点施設として位置づけられる施設です。

表. 施設概要

	建築年度	構造	階数	延床面積	耐震性	運営形態	備考
1. 佐奈保育園							
佐奈保育園	1990	W	1	783.22㎡	有	直営	
2. 津田認定子ども園							
津田認定子ども園	1992	W	1	563.76㎡	有	直営	
3. 西外城田保育園							
西外城田保育園	1994	W	1	611.06㎡	有	直営	
4. 勢和保育園							
勢和保育園	2009	W	1	1,824.06㎡	有	直営	
5. 相可保育園							
相可保育園	2007	W	1	1,683.77㎡	有	直営	
6. 子育て支援センター(おひさま)							
子育て支援センター(おひさま)	1978	S	1	205.28㎡	有	直営	2011改修
7. たき児童館							
たき児童館	2011	S	1	592.26㎡	有	直営	

②利用状況

- ▼保育園の園児数の推移をみると、「佐奈保育園」、「津田認定子ども園」、「西外城田保育園」はほぼ横ばいとなっていますが、「勢和保育園」、「相可保育園」が減少傾向を示しており、利用人数の減少が予想されます。
- ▼子育て支援施設では、年度によって増減がありますが、「子育て支援センター（おひさま）」の利用者数が年間約3,000～4,000人の間で推移し、「たき児童館」の利用者数が年間約30,000～40,000人の間で推移しています。

表. 園児数・利用者数の推移

(人)

園児数	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	備考
1.佐奈保育園	63	64	58	59	67	
2.津田認定子ども園	36	37	45	47	46	
3.西外城田保育園	30	24	23	26	25	
4.勢和保育園	177	164	154	158	144	
5.相可保育園	226	183	179	175	175	
6.子育て支援センター（おひさま）	4,227	3,483	2,835	4,230	3,885	利用者数
7.たき児童館 （放課後児童クラブ利用者含む）	25,307	34,208	44,879	37,155	34,750	利用者数
学童	82	123	141	165	171	
のびのび	6,909	8,756	8,132	-	-	

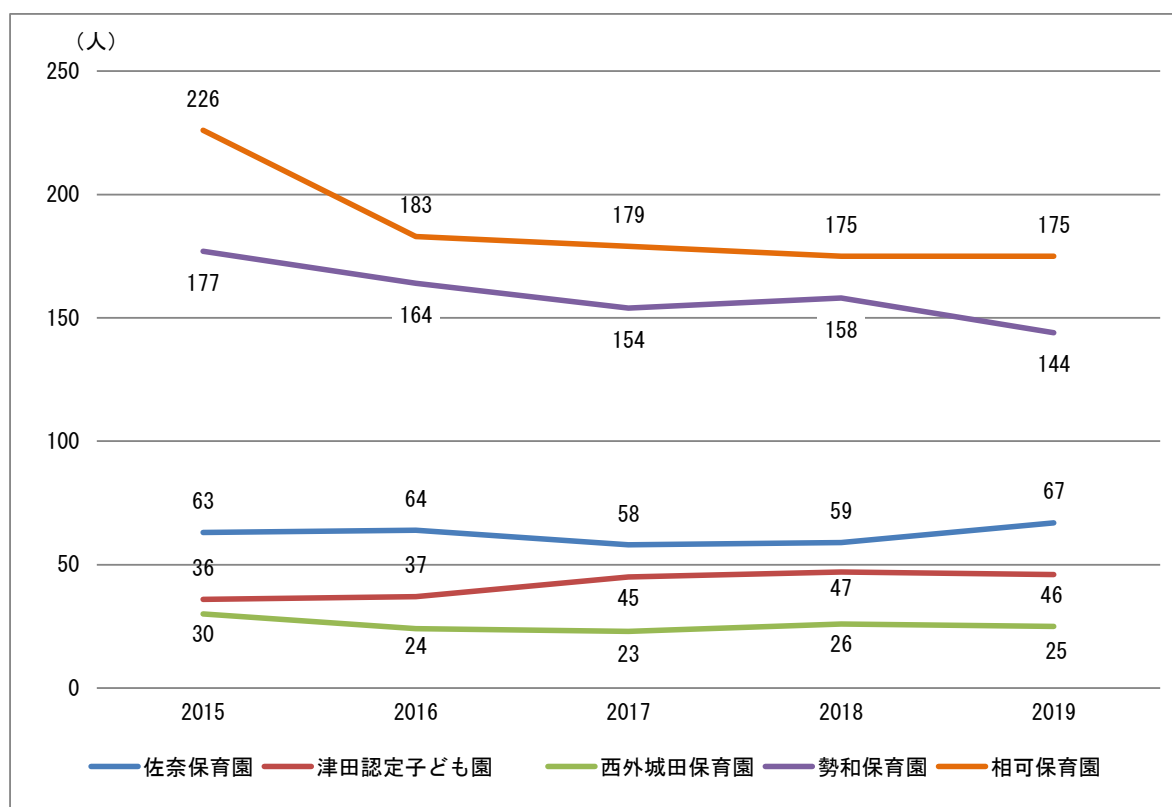


図. 園児数の推移

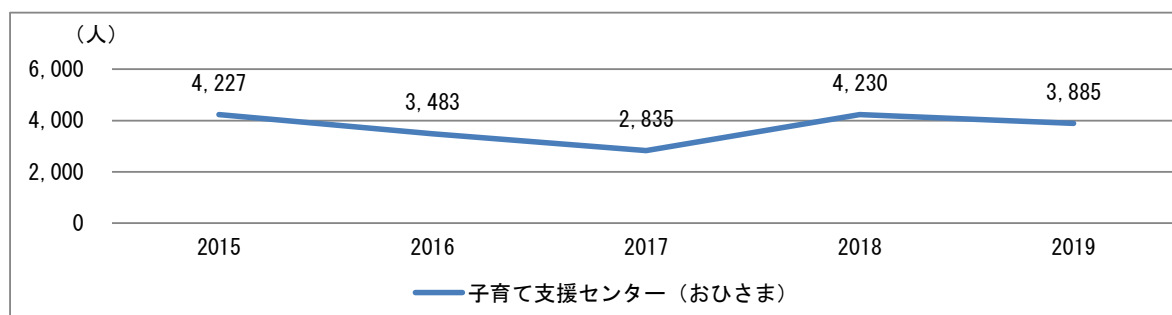


図. 利用者数の推移

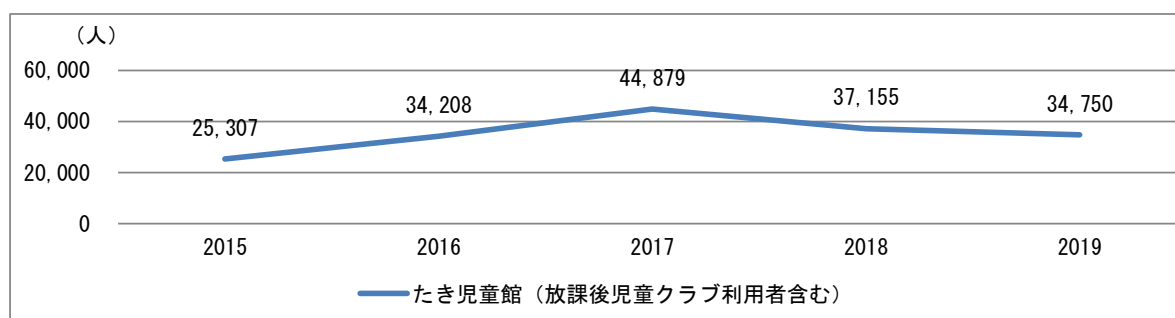


図. 利用者数の推移

③施設関連経費

▼施設関連経費は過去5年間の平均で約2,200万円となっています。

表. 施設関連経費の推移

(千円)

	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	平均	備考
施設整備費	0	0	0	0	0	0	
その他施設整備費	0	0	0	0	0	0	
維持修繕費	2,897	965	2,538	913	583	1,579	
光熱水費・委託費等	19,483	18,985	21,666	20,886	20,701	20,344	
合計	22,380	19,950	24,204	21,799	21,284	21,923	
						(21,923)	施設整備費除く

④施設の状態

▼令和元年度実施の劣化状況調査から各施設の評価結果は下表の通りです。

▼調査対象となる7施設のうち、劣化が進行していると判断されるC及びD評価に着目すると、「子育て支援センター（おひさま）」の外壁のみがD評価となっています。全体的に築年数が30年未満と比較的新しいため良好な状態が保たれています。

▼D評価となった「子育て支援センター（おひさま）」の外壁については早急な対応が必要です。

表. 施設の状態

築年数は調査年の2019基準

施設名	構造	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数	劣化状況					健全度 (100点満点)
					屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備	
1 佐奈保育園	W	783.22	1990	29	B	B	B	B	B	75
2 津田認定こども園	W	563.76	1992	27	B	B	B	B	B	75
3 西外城田保育園	W	611.06	1994	25	B	B	B	B	B	75
4 勢和保育園	W	1,824.06	2009	10	B	A	B	A	B	86
5 相可保育園	W	1,683.77	2007	12	B	A	B	A	B	86
6 子育て支援センター（おひさま）	S	205.28	1978	41	B	D	A	A	A	72
7 たき児童館	S	592.26	2011	8	A	A	B	A	A	91

A：概ね良好 B：部分的に劣化 C：広範囲に劣化 D：早急に対応
健全度：数値が小さいほど劣化が進んでいる

（2）今後の方針

①「多気町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）」における今後の方針

＜保育園・こども園＞

- ・町村合併前に旧町村で9園あった保育園については、合併後の保育園統廃合により平成27年度末時点では5園となっています。
- ・他の公共施設に比べ、各施設とも比較的新しい施設であるため、定期的な点検により長寿命化及び安全な施設の維持管理を図ります。

＜幼児・児童施設＞

- ・保育園以外の子育て支援施設では、子育て支援センターとたき児童館があります。
- ・保育園同様に利用者の安全を優先に、施設の長寿命化を図ります。

②今後の方針

▼子育て支援施設は適切な維持管理・修繕により当面存続を図っていきます。

▼「佐奈保育園」、「津田認定子ども園」、「西外城田保育園」については、利用人数が減少傾向にあり統合について検討していきます。

表. 施設の位置づけ・今後の方針・対策内容・目標使用年数

	施設の位置づけ	今後の方針	対策内容	目標使用年数
1.佐奈保育園	・地域の保育園施設 ・少子化により利用人数が減少	・当面存続	・適切な維持管理・修繕 ・統合について検討が必要	今後10年使用
2.津田認定子ども園		・当面存続	・適切な維持管理・修繕 ・統合について検討が必要	
3.西外城田保育園		・当面存続	・適切な維持管理・修繕 ・統合（閉所）について検討が必要	
4.勢和保育園	・地域の保育園施設	・当面存続	・適切な維持管理・修繕	今後30年使用
5.相可保育園		・当面存続	・適切な維持管理・修繕	今後20年使用
6.子育て支援センター（おひさま）	・勢和地域の子育て支援センター	・当面存続	・適切な維持管理・修繕	今後10年使用
7.たき児童館	・町の子育ての拠点施設（地域子育て拠点事業、利用者支援事業、放課後児童クラブ事業等を実施）	・当面存続	・適切な維持管理・修繕	今後30年使用

(3) 実施計画

①劣化状況評価と修繕費、改築費

▼令和元年度調査に基づく劣化状況評価（再掲）と修繕費、改築費（解体・新築費）を以下に示します。

表. 劣化状況評価と修繕費、改築費

施設名	劣化状況					修繕費		改築費		
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備			解体	新築	計
1 佐奈保育園	B	B	B	B	B	—	—	20,785	299,640	320,425
2 津田認定こども園	B	B	B	B	B	—	—	15,670	221,287	236,957
3 西外城田保育園	B	B	B	B	B	—	—	16,363	239,173	255,536
4 勢和保育園	B	A	B	A	B	—	—	45,901	674,454	720,355
5 相可保育園	B	A	B	A	B	—	—	42,621	625,262	667,883
6 子育て支援センター（おひさま）	B	D	A	A	A	（外壁）	6,025	7,115	98,879	105,994
7 たき児童館	A	A	B	A	A	—	—	17,281	262,735	280,016

修繕費はC・D評価のみ算出

(千円)

②今後10年間の実施計画

▼直近5年を含む今後10年間に実施する修繕工事等と事業費を以下に示します。

▼基本的に劣化状況評価のD評価は今後5年以内を目途に修繕を実施するものとします。

表. 今後10年間の実施計画

	2021 R3		2022 R4		2023 R5		2024 R6		2025 R7		2026～2030 R8～R12		
	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	備考
1.佐奈保育園													
2.津田認定子ども園													
3.西外城田保育園													
4.勢和保育園													
5.相可保育園													
6.子育て支援センター（おひさま）									（外壁） 修繕	6,025			
7.たき児童館													
合計										6,025			

(千円)

③実施計画

▼今後40年間の対策事業と費用の見通し（試算）を以下に示します。

＜試算条件＞

- ・既存施設を現状と同じ延床面積で修繕・改築した場合の試算
- ・修繕費、改築費については「①劣化状況評価と修繕費、改築費」で算出した費用を採用
- ・今後10年間（～2030）については「②今後10年間の実施計画」を参照
- ・木造及び築40年を超える建物は概ね築50年で改築として試算
- ・その他総務省が公開している「公共施設等更新費用試算ソフト」、文部科学省が公開している「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」と同様の条件・設定値で試算

長寿命化改修費（改築費×60%） 大規模改修費（改築費×25%）

表. 今後40年間の対策事業と費用の見通し

（上段：部位修繕・大規模修繕・長寿命化改修・改築（建替え）／下段：対策費用 単位：千円）

	建築 年度	築 年 数	構造	延床 面積 (㎡)	今後の 方針	～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	備考
						2021～2025 R3～R7	2026～2030 R8～R12	2031～2040 R13～R22	2041～2050 R23～R32	2051～2060 R33～R42	
1.佐奈保育園	1990	30	W	783	当面存続			(築50年)改築 320,425			今後10年使用
2.津田認定こども園	1992	28	W	564	当面存続				(築50年)改築 236,957		
3.西外城田保育園	1994	26	W	611	当面存続				(築50年)改築 255,536		
4.勢和保育園	2009	11	W	1,824	当面存続			大規模修繕 180,089		(築50年)改築 720,355	今後30年使用
5.相可保育園	2007	13	W	1,684	当面存続			大規模修繕 166,971		(築50年)改築 667,883	今後20年使用
6.子育て支援センター(おひさま)	1978	42	S	205	当面存続	(外壁)修繕 6,025		(築55年)改築 105,994		大規模修繕 26,498	今後10年使用
7.たき児童館	2011	9	S	592	当面存続			大規模修繕 70,004		長寿命化改修 168,010	今後30年使用
合計						6,025	0	843,482	492,492	1,582,745	
施設関連経費(施設整備費除く)						109,615	109,615	219,230	219,230	219,230	過去5年平均より
総計						115,640	109,615	1,062,712	711,722	1,801,975	
						3,801,664				0.95億円/年	

部位修繕：屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備

④今後40年間の対策費用とその効果

▼既存施設を単純更新した場合のコストと長寿命化対策した場合のコストを比較すると、長寿命化対策した場合の方が年約800万円削減できると試算できます。

表. 今後40年間の対策費用とその効果

(億円/年)

	現在 (過去5年平均)	今後40年間の経費		効果額 (削減額)
		既存施設を単純更新 した場合のコスト ※	長寿命化対策した 場合のコスト	
子育て支援施設	0.22	1.03	0.95	0.08

※：築概ね20年で大規模修繕
築概ね40年で改築

5-4 保健・福祉施設

施設類型(大分類)	中分類	施設名称	棟数	棟名称
4. 保健・福祉施設	福祉施設	1 天啓の里	1	
		2 ささゆり苑	1	
		3 くすのき作業所	1	

(1) 個別施設の状態等

①施設概要

▼保健・福祉施設は「天啓の里」、「ささゆり苑」、「くすのき作業所」の3施設あります。3施設ともに多気町社会福祉協議会と指定管理契約を結んでいます（R7.3 末まで）。

▼「天啓の里」は地域福祉センター、「ささゆり苑」は高齢者福祉施設、「くすのき作業所」は障がい者の小規模作業所としての機能を担っています。

表. 施設概要

	建築年度	構造	階数	延床面積	耐震性	運営形態	備考
1.天啓の里							
天啓の里	1998	S	1	1,911.02㎡	有	指定管理	
2.ささゆり苑							
ささゆり苑	1996	RC	1	1,994.24㎡	有	指定管理	
3.くすのき作業所							
くすのき作業所	2011	S	1	297.35㎡	有	指定管理	

②利用状況

▼「天啓の里」と「ささゆり苑」とともに年間約 12,000 人前後の利用者数で推移しており、ほぼ横ばいの状況が続いています。

▼「くすのき作業所」は年間約 4,000 人前後の利用者数で推移しており、ほぼ横ばいの状況が続いています。

表. 利用者数の推移

(人)

利用者数	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	備考
1.天啓の里	11,634	11,851	12,120	12,367	11,857	
2.ささゆり苑	11,754	11,967	11,734	11,487	11,742	
3.くすのき作業所	4,392	4,425	4,212	3,965	4,292	

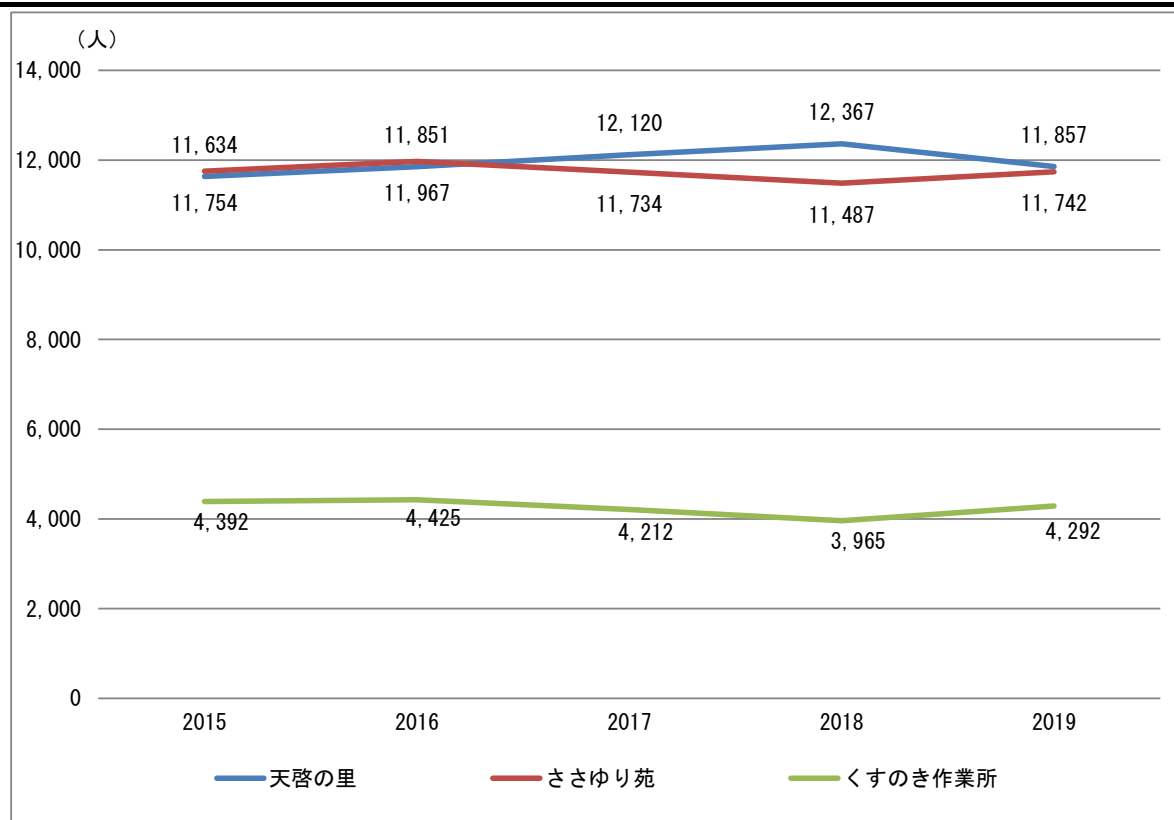


図. 利用者数の推移

③施設関連経費

▼施設関連経費は過去5年間の平均で約3,400万円となっています。

表. 施設関連経費の推移

(千円)

	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	平均	備考
施設整備費	0	0	0	0	0	0	
その他施設整備費	0	0	0	0	0	0	
維持修繕費	1,565	12,627	9,072	0	1,188	4,890	
指定管理費	28,439	28,023	28,084	29,047	30,022	28,723	
合計	30,004	40,650	37,156	29,047	31,210	33,613	
						(33,613)	施設整備費除く

④施設の状態

▼令和元年度実施の劣化状況調査から各施設の評価結果は次表の通りです。

▼調査対象となる3施設のうち、劣化が進行していると判断されるC及びD評価に着目すると、「天啓の里」と「ささゆり苑」にC評価がありましたが、早急な対応が必要なD評価はありませんでした。

▼「天啓の里」は外壁がC評価で、他の部位はB評価となっています。

▼「ささゆり苑」は外壁と電気設備がC評価で、他の部位はB評価となっています。

▼「くすのき作業所」はAまたはB評価となっており、良好な状態が保たれています。

表. 施設の状態

築年数は調査年の2019基準

施設名	構造	延床面積 (m ²)	建築 年度	築年 数	劣化状況					健全度 (100点 満点)
					屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備	
1 天啓の里	S	1,911.02	1998	21	B	C	B	B	B	65
2 ささゆり苑	RC	1,994.24	1996	23	B	C	B	C	B	60
3 くすのき作業所	S	297.35	2011	8	A	B	B	B	A	80

A：概ね良好 B：部分的に劣化 C：広範囲に劣化 D：早急に対応
健全度：数値が小さいほど劣化が進んでいる

（2）今後の方針

①「多気町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）」における今後の方針

- ・保健施設としては勢和保健センターが、福祉施設としては地域福祉センター「天啓の里」、高齢者福祉施設「ささゆり苑」と小規模作業所「くすのき作業所」の4施設があります。
- ・保健施設の勢和保健センターについては住民の健康推進施設として建築されましたが、他施設の利用などにより現在利用を休止しています。
- ・福祉施設については、いずれも多気町社会福祉協議会に管理運営を委託しています。「天啓の里」と「ささゆり苑」については高齢者福祉・障がい者福祉の中核施設として福祉サービスの提供を実施しており、町の指定避難所でもあります。建築後18年から20年が経過しているため、施設の長寿命化を図るためにも、定期点検と予防保全を行い安全な施設の維持管理を図ります。
- ・「くすのき作業所」は施設は新しいですが、長期的な利用を考え、他の福祉施設同様に、定期的な点検により施設の安全性の確保と長寿命化を図ります。

②今後の方針

- ▼「天啓の里」、「ささゆり苑」、「くすのき作業所」とも適切な維持管理・修繕により当面存続を図っていきます。

表. 施設の位置づけ・今後の方針・対策内容・目標使用年数

	施設の位置づけ	今後の方針	対策内容	目標使用年数
1.天啓の里	・地域福祉センター	・当面存続	・適切な維持管理・修繕	今後20年使用
2.ささゆり苑	・高齢者福祉施設			今後30年使用
3.くすのき作業所	・障がい者の小規模作業所			

(3) 実施計画

①劣化状況評価と修繕費、改築費

▼令和元年度調査に基づく劣化状況評価（再掲）と修繕費、改築費（解体・新築費）を以下に示します。

表. 劣化状況評価と修繕費、改築費

施設名	劣化状況					修繕費はC・D評価のみ算出		改築費		
	屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備	修繕費		解体	新築	計
1 天啓の里	B	C	B	B	B	(外壁)	34,638	54,355	883,839	938,194
2 ささゆり苑	B	C	B	C	B	(外壁)	24,773	81,787	758,868	840,655
						(電気設備)※	28,717			
3 くすのき作業所	A	B	B	B	A	—	—	9,270	114,202	123,472

※：電気設備の修繕費は＜面積×単価＞

（単価：「公共施設等更新費用試算ソフト」（総務省）、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」（文部科学省）の設定値）

②今後 10 年間の実施計画

▼直近 5 年を含む今後 10 年間に実施する修繕工事等と事業費を以下に示します。

▼基本的に劣化状況評価の C 評価は今後 10 年以内を目途に修繕を実施するものとします。

表. 今後 10 年間の実施計画

	2021 R3		2022 R4		2023 R5		2024 R6		2025 R7		2026～2030 R8～R12		
	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	備考
1.天啓の里											(外壁)修繕	34,638	
2.ささゆり苑											(外壁)修繕	24,773	
											(電気設備) 修繕	28,717	
											小計	53,490	
3.くすのき作業所													
合計												88,128	

③実施計画

▼今後40年間の対策事業と費用の見通し（試算）を以下に示します。

＜試算条件＞

- ・既存施設を現状と同じ延床面積で修繕・改築した場合の試算
- ・修繕費、改築費については「①劣化状況評価と修繕費、改築費」で算出した費用を採用
- ・今後10年間（～2030）については「②今後10年間の実施計画」を参照
- ・RC造等は基本的に築約20年で大規模修繕、築約40年で長寿命化改修、築約60年で大規模修繕、築約80年で改築として試算
- ・その他総務省が公開している「公共施設等更新費用試算ソフト」、文部科学省が公開している「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」と同様の条件・設定値で試算

長寿命化改修費（改築費×60%） 大規模改修費（改築費×25%）

表. 今後40年間の対策事業と費用の見通し

（上段：部位修繕・大規模修繕・長寿命化改修・改築（建替え）／下段：対策費用 単位：千円）

	建築 年度	築 年 数	構造	延床 面積 (㎡)	今後の 方針	～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	備考
						2021～2025 R3～R7	2026～2030 R8～R12	2031～2040 R13～R22	2041～2050 R23～R32	2051～2060 R33～R42	
1.天啓の里	1998	22	S	1,911	当面存続		(外壁)修繕 34,638	長寿命化改修 562,917		大規模修繕 234,549	今後20年使用
2.ささゆり苑	1996	24	RC	1,994	当面存続		(外壁・電気 設備)修繕 53,490	長寿命化改修 504,393		大規模修繕 210,164	今後20年使用
3.くすのき作業所	2011	9	S	297	当面存続			大規模修繕 30,868		長寿命化改修 74,083	今後30年使用
合計						0	88,128	1,098,178	0	518,795	
施設関連経費(施設整備費除く)						168,065	168,065	336,130	336,130	336,130	過去5年平均より
総計						168,065	256,193	1,434,308	336,130	854,925	
						3,049,621				0.76億円/年	

部位修繕：屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備

④今後40年間の対策費用とその効果

▼既存施設を単純更新した場合のコストと長寿命化対策した場合のコストを比較すると、長寿命化対策した場合の方が年約1,400万円削減できると試算できます。

表. 今後40年間の対策費用とその効果

(億円/年)

	現在 (過去5年平均)	今後40年間の経費		効果額 (削減額)
		既存施設を単純更新 した場合のコスト ※	長寿命化対策した 場合のコスト	
保健福祉施設	0.34	0.90	0.76	0.14

※：築概ね25年で大規模修繕
築概ね50年で改築

5-5 町民文化系施設

施設類型(大分類)	中分類	施設名称	棟数	棟名称
5. 町民文化系施設	文化施設	1 町民文化会館	2	町民文化会館 町民文化会館楽屋増築
		2 相可公民館	2	相可公民館 相可公民館増築
	集会施設	3 佐奈公民館	1	
		4 津田公民館	1	
		5 外城田公民館	1	
		6 勢和東公民館	1	
		7 北弟国集会所	1	
		8 中朝長集会所	1	
		9 笠木集会所	1	
		10 前村集会所	1	
		11 三疋田集会所	1	
		12 平谷集会所	1	
		13 井戸谷集会所	1	
		14 色太集会所	2	色太集会所 色太集会所(施設改造及び増築部分)

※：勢和公民館については、勢和振興事務所建替え時に同じ建物の中に併設予定（R4～R5年度）

(1) 個別施設の狀態等

①施設概要

▼町民文化系施設は、文化施設として「町民文化会館」が1施設、集会施設として公民館が5施設、集会所が8施設あります。

▼集会所は「色太集会所」を除き、築40年を経過しています。

表. 施設概要

	建築年度	構造	階数	延床面積	耐震性	運営形態	備考
1.町民文化会館							
町民文化会館	1992	S	3	2,561.00㎡	有		
楽屋増築	2003	S	1	306.30㎡	有		
合計				2,867.30㎡			
2.相可公民館							
相可公民館	1987	S	1	279.76㎡	有		
増築	2002	S	1	71.13㎡	有		
合計				350.89㎡			
3.佐奈公民館							
佐奈公民館	1990	S	1	299.31㎡	有		
4.津田公民館							
津田公民館	1988	S	1	259.54㎡	有		
5.外城田公民館							
外城田公民館	2005	S	1	296.60㎡	有		
6.勢和東公民館							
勢和東公民館	1989	RC	2	2,119.20㎡	有		
7.北弟国集会所							
北弟国集会所	1974	S	2	162.00㎡			
8.中朝長集会所							
中朝長集会所	1971	W	1	86.12㎡			
9.笠木集会所							
笠木集会所	1972	W	1	99.37㎡			
10.前村集会所							
前村集会所	1974	S	1	123.12㎡			
11.三疋田集会所							
三疋田集会所	1975	S	1	153.90㎡			

	建築年度	構造	階数	延床面積	耐震性	運営形態	備考
12.平谷集会所							
平谷集会所	1976	S	2	150.03㎡			
13.井戸谷集会所							
井戸谷集会所	1977	S	1	97.15㎡			
14.色太集会所							
色太集会所	1993	S	1	99.43㎡	有		
施設改造及び増築部分	2003	S	1	16.60㎡	有		
合計				116.03㎡			

②利用状況

▼「町民文化会館」は、利用者の減少が続いていますが、年間を通して生涯学習講座や自主事業を開催しています。

▼公民館をみると、近年、「佐奈公民館」と「津田公民館」は増加傾向を示していますが、「相可公民館」、「外城田公民館」、「勢和東公民館」は減少傾向を示しており、特に、「相可公民館」と「勢和東公民館」の減少が目立ちます。

▼集会所は、利用頻度が高いとともに利用回数も増加しつつある「笠木集会所」と「色太集会所」を除くと、他の集会所は利用頻度が低い状況となっています。

表. 利用者数の推移

(人／回)

利用者数	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	備考
1.町民文化会館	41,264	35,434	33,779	32,723	28,935	
2.相可公民館	5,628	8,365	7,999	7,896	5,786	
3.佐奈公民館	6,707	6,042	5,300	5,643	6,954	
4.津田公民館	3,496	4,225	2,873	3,241	3,396	
5.外城田公民館	2,559	2,642	1,696	1,513	1,360	
6.勢和東公民館	7,173	9,259	7,808	4,805	3,495	
7.北第国集会所	2	1	1	1	1	利用回数
8.中朝長集会所	15	6	5	4	6	利用回数
9.笠木集会所	21	46	24	37	43	利用回数
10.前村集会所	1	0	2	0	2	利用回数
11.三疋田集会所	3	3	3	2	2	利用回数
12.平谷集会所	21	18	9	11	0	利用回数
13.井戸谷集会所	0	0	2	0	0	利用回数
14.色太集会所	6	6	41	48	46	利用回数

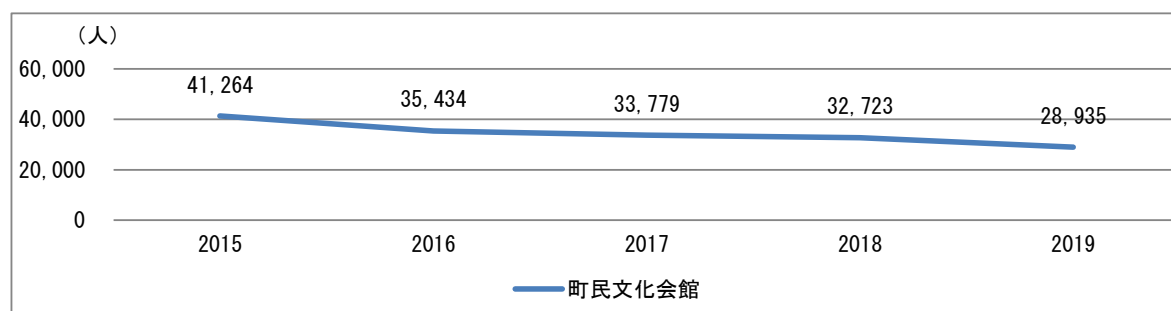


図. 利用者数の推移

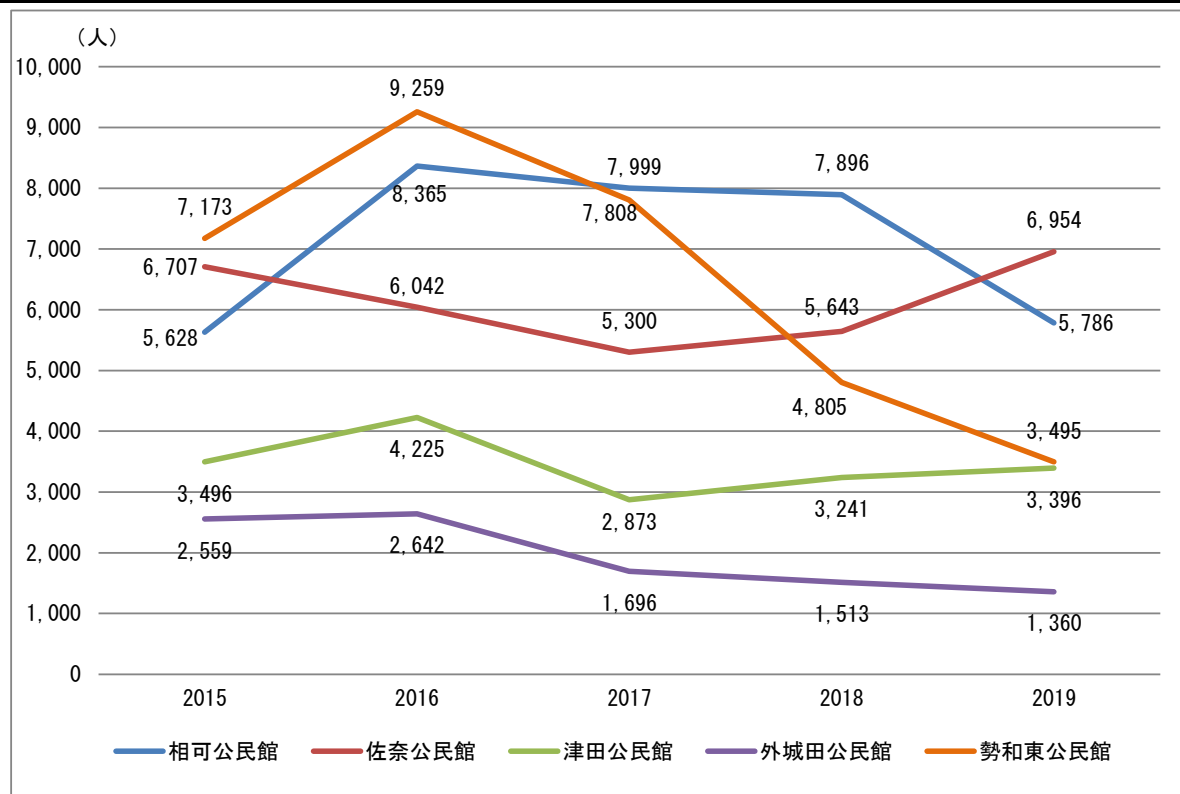


図. 利用者数の推移

③施設関連経費

▼施設関連経費は過去5年間の平均で約2,300万円となっています。

表. 施設関連経費の推移

(千円)

	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	平均	備考
施設整備費	0	0	0	0	0	0	
その他施設整備費	0	0	0	804	0	161	
維持修繕費	1,401	4,053	1,680	4,230	3,390	2,951	
光熱水費・委託費等	19,939	19,405	19,638	20,278	19,611	19,774	
合計	21,340	23,458	21,318	25,312	23,001	22,886	
						(22,886)	施設整備費除く

④施設の状態

▼令和元年度実施の劣化状況調査から各施設の評価結果は下表の通りです。

▼劣化が進行していると判断される C 及び D 評価に着目すると、次のような状況となっています。

▼「町民文化会館」は、屋根・屋上、外壁、内部仕上げが C 評価であるとともに、「楽屋増築」においても外壁が C 評価であり、老朽化が進行しつつあります。

▼公民館は、「勢和東公民館」において外壁と内部仕上げが D 評価であり、早急な対応が必要です。それ以外の公民館はどの部位も A あるいは B 評価であり、良好な状態が保たれています。

▼集会所は、築年数が比較的浅い「色太集会所」は A あるいは B 評価であり、良好な状態が保たれていますが、それ以外の集会所は築 40 年以上経過しているため C 評価が目立ちます。特に、「笠木集会所」は外壁が D 評価であり、早急な対応が必要です。

表. 施設の状態

築年数は調査年の2019基準

施設名	構造	延床面積 (㎡)	建築 年度	築年 数	劣化状況					健全度 (100点 満点)
					屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備	
1 町民文化会館	S	2,561.00	1992	27	C	C	C	B	B	49
楽屋増築	S	306.30	2003	16	B	C	A	B	A	77
2 相可公民館	S	279.76	1987	32	B	B	B	B	B	75
増築	S	71.13	2002	17	B	B	A	A	A	91
3 佐奈公民館	S	299.31	1990	29	B	B	B	B	B	75
4 津田公民館	S	259.54	1988	31	B	B	B	B	B	75
5 外城田公民館	S	296.60	2005	14	A	A	A	A	A	100
6 勢和東公民館	RC	2,119.20	1989	30	B	D	D	B	B	32
7 北弟国集会所	S	162.00	1974	45	A	C	C	C	C	45
8 中朝長集会所	W	86.12	1971	48	B	B	C	C	C	53
9 笠木集会所	W	99.37	1972	47	C	D	C	C	C	31
10 前村集会所	S	123.12	1974	45	C	B	C	C	C	50
11 三疋田集会所	S	153.90	1975	44	B	B	C	C	C	53
12 平谷集会所	S	150.03	1976	43	C	C	C	C	C	40
13 井戸谷集会所	S	97.15	1977	42	B	A	C	C	C	60
14 色太集会所	S	99.43	1993	26	A	B	B	B	B	77
施設改造及び増築部分	S	16.60	2003	16	A	B	A	A	A	93

A：概ね良好 B：部分的に劣化 C：広範囲に劣化 D：早急に対応

健全度：数値が小さいほど劣化が進んでいる

（2）今後の方針

①「多気町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）」における今後の方針

＜町民文化会館＞

- ・文化施設として、平成4年に建築した町民文化会館があり、生涯学習活動や、文化振興の中心的な拠点として活用されています。文化会館のホールは576人の人員収容が可能で、本町のみならず周辺市町も含めた広域的な活用が行われています。建築後20年以上が経過し、平成11年度には大規模修繕、平成17年度には増築、機械設備の更新を行っています。今後も定期的な点検と予防保全により施設の安全性の確保と長寿命化を図ります。

＜公民館＞

- ・公民館施設については、それぞれの地区の地域活動や生涯学習活動の拠点、災害時の避難場所としての役割を担っています。
- ・勢和東公民館については、廃校となった丹生小学校を利用した施設です。小学校の校舎を利用しているため、公共施設の中でも大型の施設に属します。効率的な維持管理、予防保全を行い、余剰空間についての活用も検討します。

＜集会所＞

- ・集会所施設については、条例に基づき設置され地域コミュニケーションの場として利用されています。施設の多くが昭和40年代後半から50年代に建築されたため、老朽化が進んでいます。今後は地域のニーズ、施設の利用状況を確認したうえで、施設のあり方について検討をしていきます。

②今後の方針

- ▼「町民文化会館」は適切な維持管理・修繕により長寿命化を図っていきます。
- ▼「公民館」については適切な維持管理・修繕により当面存続を図っていきます。
- ▼「集会所」についても適切な維持管理・修繕により当面存続を図っていきますが、地元への譲渡や廃止を含めて施設のあり方について検討していきます。

表. 施設の位置づけ・今後の方針・対策内容・目標使用年数

	施設の位置づけ	今後の方針	対策内容	目標使用年数
1.町民文化会館	・年間を通して生涯学習講座や自主事業を開催しており、避難所としても重要な施設	・長寿命化	・適切な維持管理・修繕	今後 20 年以上使用
2.相可公民館	・地域の様々な団体が利用 ・生涯学習活動の拠点	・当面存続	・適切な維持管理・修繕	今後 10～15 年
3.佐奈公民館				
4.津田公民館				
5.外城田公民館				今後 25 年以上
6.勢和東公民館				今後 10～15 年
7.北弟国集会所	・地域の中心	・当面存続	・適切な維持管理・修繕 ・地元への譲渡や廃止を含めて施設のあり方を検討	今後 10 年
8.中朝長集会所	・様々な用途に使用			
9.笠木集会所	・地域の生涯学習活動の場 ・地域住民の交流の場			
10.前村集会所	・地区学習の場			
11.三疋田集会所	・地域の中心 ・様々な用途に使用			
12.平谷集会所	・利用頻度が減少			今後 5～10 年
13.井戸谷集会所	・地域の中心 ・様々な用途に使用			今後 10 年
14.色太集会所	・地域の集会所 ・利用頻度も高く必要が高い			今後 20 年

(3) 実施計画

①劣化状況評価と修繕費、改築費

▼令和元年度調査に基づく劣化状況評価（再掲）と修繕費、改築費（解体・新築費）を以下に示します。

表. 劣化状況評価と修繕費、改築費

施設名	劣化状況					修繕費はC・D評価のみ算出		改築費		
	屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備	修繕費		解体	新築	計
1 町民文化会館	C	C	C	B	B	(屋根・外壁)	56,548	72,925	1,347,995	1,420,920
楽屋増築	B	C	A	B	A	(内部)	107,031			
2 相可公民館	B	B	B	B	B	—	—	10,767	151,305	162,072
増築	B	B	A	A	A					
3 佐奈公民館	B	B	B	B	B	—	—	9,530	131,758	141,288
4 津田公民館	B	B	B	B	B	—	—	8,463	111,650	120,113
5 外城田公民館	A	A	A	A	A	—	—	9,323	130,999	140,322
6 勢和東公民館	B	D	D	B	B	(屋根・外壁)	53,101	89,656	885,412	975,068
						(内部)	102,544			
7 北弟国集会所	A	C	C	C	C	(外壁)	5,295	4,957	59,103	64,060
						(内部)	8,230			
						(電気・機械 設備)※	4,990			
						(内部)※	1,929			
8 中朝長集会所	B	B	C	C	C	(電気・機械 設備)※	2,652	2,597	43,230	45,827
						(内部)※	1,929			
9 笠木集会所	C	D	C	C	C	(屋根・外壁)	7,874	3,029	48,664	51,693
						(内部)※	2,226			
						(電気・機械 設備)※	3,061			
10 前村集会所	C	B	C	C	C	(屋根)	1,147	3,740	48,444	52,184
						(内部)※	2,758			
						(電気・機械 設備)※	3,792			
11 三疋田集会所	B	B	C	C	C	(内部)※	3,447	4,547	58,113	62,660
						(電気・機械 設備)※	4,740			
12 平谷集会所	C	C	C	C	C	(屋根・外壁)	7,060	5,025	55,473	60,498
						(内部)※	3,361			
						(電気・機械 設備)※	4,621			
13 井戸谷集会所	B	A	C	C	C	(内部)※	2,176	2,991	37,598	40,589
						(電気・機械 設備)※	2,992			
14 色太集会所	A	B	B	B	B	—	—	3,559	46,255	49,814
施設改造及び増築部分	A	B	A	A	A	—	—			

※：電気・機械設備、一部の内部仕上の修繕費は＜面積×単価＞

（単価：「公共施設等更新費用試算ソフト」（総務省）、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」（文部科学省）の設定値）

②今後10年間の実施計画

▼直近5年を含む今後10年間に実施する修繕工事等と事業費を以下に示します。

▼基本的に劣化状況評価のD評価は今後5年以内を目途に、C評価は今後10年以内を目途に修繕を実施するものとします。

表. 今後10年間の実施計画

(千円)

	2021 R3		2022 R4		2023 R5		2024 R6		2025 R7		2026～2030 R8～R12		
	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	備考
1.町民文化会館 楽屋増築含む											(屋根・外壁)修繕	56,548	
											(内部)修繕	107,031	
											小計	163,579	
2.相可公民館 増築部分含む													
3.佐奈公民館													
4.津田公民館													
5.外城田公民館											大規模修繕	35,080	
6.勢和東公民館											(外壁)修繕	53,101	
											(内部)修繕	102,544	
											小計	155,645	
7.北弟国集会所											(外壁)修繕	5,295	
											(内部)修繕	8,230	
											(電気・機械設備)修繕	4,990	
											小計	18,515	
8.中朝長集会所											(内部)修繕	1,929	
											(電気・機械設備)修繕	2,652	
											小計	4,581	
9.笠木集会所											(屋根・外壁)修繕	7,874	
											(内部)修繕	2,226	
											(電気・機械設備)修繕	3,061	
											小計	13,161	
10.前村集会所											(屋根)修繕	1,147	
											(内部)修繕	2,758	
											(電気・機械設備)修繕	3,792	
											小計	7,697	
11.三疋田集会所											(内部)修繕	3,447	
											(電気・機械設備)修繕	4,740	
											小計	8,187	
12.平谷集会所											(屋根・外壁)修繕	7,060	
											(内部)修繕	3,361	
											(電気・機械設備)修繕	4,621	
											小計	15,042	
13.井戸谷集会所											(内部)修繕	2,176	
											(電気・機械設備)修繕	2,992	
											小計	5,168	
14.色太集会所 増築部分含む													
合計												426,655	

※勢和公民館については、勢和振興事務所建替え時に同じ建物の中に併設予定(R4～R5年度)

▼今後 40 年間の対策事業と費用の見通し（試算）を以下に示します。

- ・既存施設を現状と同じ延床面積で修繕・改築した場合の試算
- ・修繕費、改築費については「④劣化状況評価と修繕費、改築費」で算出した費用を採用
- ・今後 10 年間（～2030）については「②今後 10 年間の実施計画」を参照
- ・RC 造等は基本的に築約 20 年で大規模修繕、築約 40 年で長寿命化改修、築約 60 年で大規模修繕、築約 80 年で改築として試算
- ・築 40 年以上を超える集会所については、築 60 年で改築として試算
- ・その他総務省が公開している「公共施設等更新費用試算ソフト」、文部科学省が公開している「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」と同様の条件・設定値で試算

[illegible]

（上段：部位修繕・大規模修繕・長寿命化改修・改築（建替え）／下段：対策費用 単位：千円）

	建築 年度	築年 数	構造	延床 面積 (㎡)	今後の 方針	～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	備考
						2021～2025 R3～R7	2026～2030 R8～R12	2031～2040 R13～R22	2041～2050 R23～R32	2051～2060 R33～R42	
12.平谷集会所	1976	44	S	150	当面存続 廃止検討		(屋根・外壁・ 内部・電気・機 械設備)修繕 15,042	(築60年)改築 60,498		大規模修繕 15,124	今後5～10年 使用
13.井戸谷集会所	1977	43	S	97	当面存続		(内部・電気・ 機械設備)修 繕 5,168	(築60年)改築 40,589		大規模修繕 10,147	今後10年使用
14.色太集会所	1993	27	S	99	当面存続			長寿命化改修 29,888		大規模修繕 12,453	今後20年使用
施設改造及び増築部分	2003	17	S	17							
合計						0	426,655	2,099,076	84,193	811,696	
施設関連経費(施設整備費除く)						114,430	114,430	228,860	228,860	228,860	過去5年平均より
総計						114,430	541,085	2,327,936	313,053	1,040,556	
						4,337,061					1.08億円/年

部位修繕：屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備

④今後40年間の対策費用とその効果

▼既存施設を単純更新した場合のコストと長寿命化対策した場合のコストを比較すると、長寿命化対策した場合の方が年約300万円削減できると試算できます。

表. 今後40年間の対策費用とその効果

	現在 (過去5年平均)	今後40年間の経費		効果額 (削減額)
		既存施設を単純更新 した場合のコスト ※	長寿命化対策した 場合のコスト	
町民文化系施設	0.23	1.11	1.08	0.03

※：築概ね25年で大規模修繕
築概ね50年で改築

5-6 社会教育系施設

施設類型(大分類)	中分類	施設名称	棟数	棟名称
6. 社会教育系施設		1 ふるさと交流館せいわ	1	
		2 ふるさと交流館たき	1	

(1) 個別施設の状態等

①施設概要

▼社会教育系施設は「ふるさと交流館せいわ」と「ふるさと交流館たき」の2施設あります。

▼地域の生涯学習の場の中心としての機能を担っています。

表. 施設概要

	建築年度	構造	階数	延床面積	耐震性	運営形態	備考
1. ふるさと交流館せいわ							
ふるさと交流館せいわ	1996	RC	1	1,299.59㎡	有		
2. ふるさと交流館たき							
ふるさと交流館たき	2007	RC	1	998.10㎡	有		

②利用状況

▼「ふるさと交流館せいわ」、「ふるさと交流館たき」とともに、地域の生涯学習の場の中心でもあり、多くの人が集まる施設です。

▼「ふるさと交流館せいわ」の利用者数が年間約23,000～28,000人、「ふるさと交流館たき」の利用者数が年間約15,000～20,000人の間で推移しています。

表. 利用者数の推移

利用者数	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	備考
1. ふるさと交流館せいわ	19,459	18,008	20,130	16,832	15,797	
2. ふるさと交流館たき	26,114	25,732	28,154	23,753	23,258	

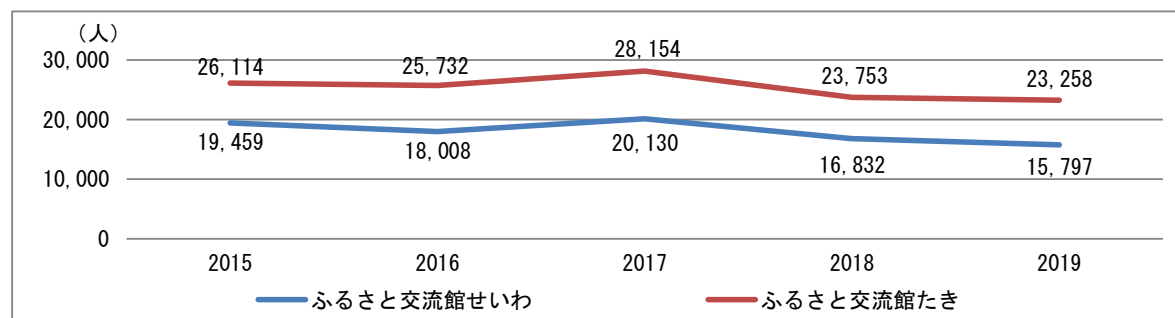


図. 利用者数の推移

③施設関連経費

▼施設関連経費は過去5年間の平均で約800万円となっています。

表. 施設関連経費の推移

(千円)

	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	平均	備考
施設整備費	0	0	0	0	0	0	
その他施設整備費	0	0	0	0	0	0	
維持修繕費	453	374	665	291	877	532	
光熱水費・委託費等	7,583	7,599	7,729	7,620	7,476	7,601	
合計	8,036	7,973	8,394	7,911	8,353	8,133	
						(8,133)	施設整備費除く

④施設の状態

▼令和元年度実施の劣化状況調査から各施設の評価結果は下表の通りです。

▼劣化が進行していると判断されるC及びD評価に着目すると、「ふるさと交流館せいわ」において屋根・屋上と外壁がC評価、「ふるさと交流館たき」において屋根・屋上がC評価となっています。

表. 施設の状態

築年数は調査年の2019基準

施設名	構造	延床 面積 (㎡)	建築 年度	築年 数	劣化状況					健全度 (100点 満点)
					屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備	
1 ふるさと交流館せいわ	RC	1,299.59	1996	23	C	C	B	B	B	62
2 ふるさと交流館たき	RC	998.10	2007	12	C	B	B	A	A	78

A：概ね良好 B：部分的に劣化 C：広範囲に劣化 D：早急に対応
健全度：数値が小さいほど劣化が進んでいる

（2）今後の方針

①「多気町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）」における今後の方針

<図書館>

- 図書館については、町村合併前の旧勢和村においては、図書館を単に図書や資料の保存、提供をする施設とするのではなく、読書会や施設を使った、教育、文化、コミュニケーションの場として多機能な役割持たせ「ふるさと交流館」として利用・活用してきました。
- 合併後の新町においても、その方針を拡大すべく旧多気町の図書館を改築し、2つの図書館を住民交流の場として「ふるさと交流館せいわ」「ふるさと交流館たき」として活用しています。
- 「ふるさと交流館せいわ」は、勢和郷土資料館も併設していますが、建築後、20年が経過するため、予防保全による長寿命化及び施設の安全確保を図ります。
- 「ふるさと交流館たき」は、施設は新しいですが、同様に定期的な点検による施設整備と安全確保に努め施設の長寿命化を図ります。

<郷土資料館等>

- 本町には「ふるさと交流館せいわ」内の勢和郷土資料館と多気郡教育会館1階を借用している多気郷土資料館の2カ所で郷土資料の展示等を行っています。
- その他、郷土資料を保管するための収蔵庫があります。文化財の保存施設として機器類も含め適切な施設管理を行い収蔵物の維持管理を行っていきます。

②今後の方針

- ▼「ふるさと交流館せいわ」、「ふるさと交流館たき」は適切な維持管理・修繕により長寿命化を図っていきます。

表. 施設の位置づけ・今後の方針・対策内容・目標使用年数

	施設の位置づけ	今後の方針	対策内容	目標使用年数
1.ふるさと交流館せいわ	・生涯学習の場の中心 ・多くの人が集まる重要な施設	・長寿命化	・適切な維持管理・修繕	今後35年以上使用
2.ふるさと交流館たき				今後40年以上使用

（3）実施計画

①劣化状況評価と修繕費、改築費

▼令和元年度調査に基づく劣化状況評価（再掲）と修繕費、改築費（解体・新築費）を以下に示します。

表. 劣化状況評価と修繕費、改築費

施設名	劣化状況					修繕費はC・D評価のみ算出		改築費		
	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	修繕費		解体	新築	計
1 ふるさと交流館せいわ	C	C	B	B	B	(屋根・外壁)	78,916	54,331	468,578	522,909
2 ふるさと交流館たき	C	B	B	A	A	(屋根)	14,491	41,597	367,411	409,008

②今後10年間の実施計画

▼直近5年を含む今後10年間に実施する修繕工事等と事業費を以下に示します。

▼基本的に劣化状況評価のC評価は今後10年以内を目途に修繕を実施するものとします。

表. 今後10年間の実施計画

	2021 R3		2022 R4		2023 R5		2024 R6		2025 R7		2026～2030 R8～R12		
	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	備考
1.ふるさと交流館せいわ											(屋根・外壁)修繕	78,916	
2.ふるさと交流館たき											(屋根)修繕	14,491	
合計												93,407	

③実施計画

▼今後40年間の対策事業と費用の見通し（試算）を以下に示します。

<試算条件>

- ・既存施設を現状と同じ延床面積で修繕・改築した場合の試算
- ・修繕費、改築費については「①劣化状況評価と修繕費、改築費」で算出した費用を採用
- ・今後10年間（～2030）については「②今後10年間の実施計画」を参照
- ・RC造等は基本的に築約20年で大規模修繕、築約40年で長寿命化改修、築約60年で大規模修繕、築約80年で改築として試算
- ・その他総務省が公開している「公共施設等更新費用試算ソフト」、文部科学省が公開している「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」と同様の条件・設定値で試算

長寿命化改修費（改築費×60%） 大規模改修費（改築費×25%）

表. 今後40年間の対策事業と費用の見通し

（上段：部位修繕・大規模修繕・長寿命化改修・改築（建替え）／下段：対策費用 単位：千円）

	建築年度	築年数	構造	延床面積 (㎡)	今後の方針	～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	備考
						2021～2025 R3～R7	2026～2030 R8～R12	2031～2040 R13～R22	2041～2050 R23～R32	2051～2060 R33～R42	
1.ふるさと交流館せいわ	1996	24	RC	1,300	長寿命化		(屋根・外壁)修繕 78,916	長寿命化改修 313,746		大規模修繕 130,727	今後35年以上使用
2.ふるさと交流館たき	2007	13	RC	998	長寿命化		(屋根)修繕 14,491		長寿命化改修 245,405		今後40年以上使用
合計						0	93,407	313,746	245,405	130,727	
施設関連経費(施設整備費除く)						40,665	40,665	81,330	81,330	81,330	過去5年平均より
総計						40,665	134,072	395,076	326,735	212,057	
						1,108,604					0.28億円/年

部位修繕：屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備

④今後40年間の対策費用とその効果

▼既存施設を単純更新した場合のコストと長寿命化対策した場合のコストを比較すると、長寿命化対策した場合の方が年約900万円削減できると試算できます。

表. 今後40年間の対策費用とその効果

	現在 (過去5年平均)	今後40年間の経費		(億円/年)
		既存施設を単純更新 した場合のコスト ※	長寿命化対策した 場合のコスト	効果額 (削減額)
社会教育系施設	0.08	0.37	0.28	0.09

※：築概ね25年で大規模修繕
築概ね50年で改築

5-7 スポーツ・レクリエーション系施設

施設類型(大分類)	中分類	施設名称	棟数	棟名称
7. スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	1 農業者トレーニングセンター	1	
		2 勢和体育館	1	
		3 勢和東体育館	1	
		4 勢和台スポーツセンター(管理棟)	1	
	観光施設	5 五桂池ふるさと村	4	五桂池ふるさと村おばあちゃんの店 五桂池ふるさと村まごの店 五桂池ふるさと村ロッジ 五桂池ふるさと村動物ふれあい広場
		6 ふれあいの森勢山荘	1	
		7 元丈の館(本館)	1	

(1) 個別施設の状態等

①施設概要

- ▼スポーツ・レクリエーション系施設はスポーツ施設が4施設、観光施設が3施設です。
- ▼スポーツ・レクリエーション系施設はすべて指定管理者の管理となっています。
- ▼「五桂池ふるさと村」は、本町の集客交流の拠点を担う「おばあちゃんの店」と「動物ふれあい広場」、全国初の高校生レストランである「まごの店」、宿泊機能を担う「ロッジ」から構成されている施設です。
- ▼「ふれあいの森勢山荘」は、都市と農村の交流空間として整備された宿泊施設です。
- ▼「元丈の館(本館)」は、本町がほこる歴史的偉人野呂元丈の功績を讃え、後世に伝えるために整備された施設です。

表. 施設概要

	建築年度	構造	階数	延床面積	耐震性	運営形態	備考
1. 農業者トレーニングセンター							
農業者トレーニングセンター	1982	RC	2	1,699.27㎡	有	指定管理	
2. 勢和体育館							
勢和体育館	1985	S	1	961.74㎡	有	指定管理	
3. 勢和東体育館							
勢和東体育館	1996	RC	1	548.89㎡	有	指定管理	
4. 勢和台スポーツセンター(管理棟)							
勢和台スポーツセンター(管理棟)	1982	RC	1	199.00㎡	有	指定管理	
5. 五桂池ふるさと村							
おばあちゃんの店	1999	S	2	897.00㎡	有	指定管理	
まごの店	2004	S	1	376.74㎡	有	指定管理	
ロッジ	1984		1			指定管理	A 約29㎡ 5棟 B 約29㎡ 8棟 C 約16㎡ 5棟
動物ふれあい広場	1905		1			指定管理	
6. ふれあいの森勢山荘							
ふれあいの森勢山荘	1995	W	2	186.27㎡	有	指定管理	
7. 元丈の館(本館)							
元丈の館(本館)	2000	W	1	341.59㎡	有	指定管理	

②利用状況

▼スポーツ施設は年度によって増減がありますが、ほぼ横ばいのような状況になっており、直近の2019年度をみると、「農業者トレーニングセンター」が約35,000人、「勢和体育館」が約3,000人、「勢和東体育館」が約4,400人、「勢和台スポーツセンター（管理棟）」が約3,800人の利用者となっています。

▼「五桂池ふるさと村」をみると、「おばあちゃんの店」が2018年度までは減少傾向が続いていましたが2019年度には増加に転じました。「まごの家」と「ロッジ」がほぼ横ばい状況が続いています。「動物ふれあい広場」は2018年度まではほぼ横ばいでしたが、2019年度には減少といった状況になっています。

▼「ふれあいの森山荘」は概ね増加傾向にあり、近年は1,000人以上の人が利用しています。

▼「元丈の館(本館)」は概ね減少傾向にあります。近年でも20,000人以上の人が利用しています。

表. 利用者数の推移

(人)

利用者数	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	備考
1.農業者トレーニングセンター	31,147	33,216	33,483	38,031	35,221	
2.勢和体育館	2,268	2,281	1,803	3,192	3,063	
3.勢和東体育館	4,509	5,625	4,194	4,108	4,363	
4.勢和台スポーツセンター（管理棟）	5,491	5,050	6,339	4,281	3,835	勢和台スポーツセンターの利用者数
5.五桂池ふるさと村						
おばあちゃんの店	139,100	133,228	122,875	109,674	126,163	
まごの家	15,981	13,805	13,161	11,771	9,726	
ロッジ	1,678	1,791	1,656	3,713	2,767	宿泊者数
動物ふれあい広場	62,148	55,860	59,481	58,513	27,388	
6.ふれあいの森勢山荘	220	539	572	1,143	1,072	宿泊のみ
7.元丈の館(本館)	45,621	47,676	45,327	27,395	23,819	

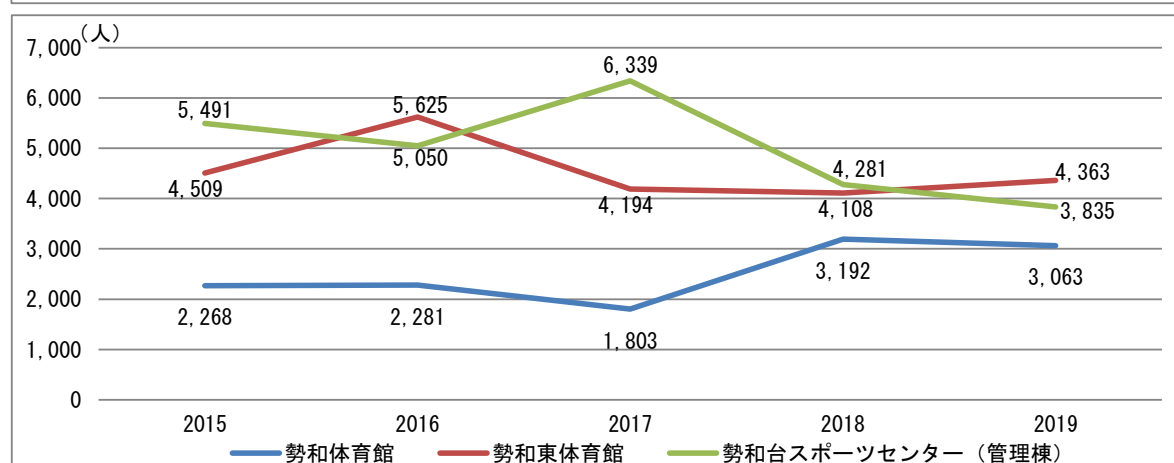
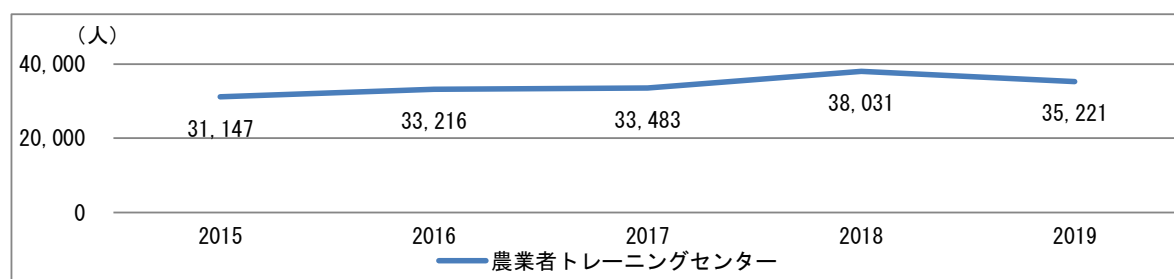


図. 利用者数の推移

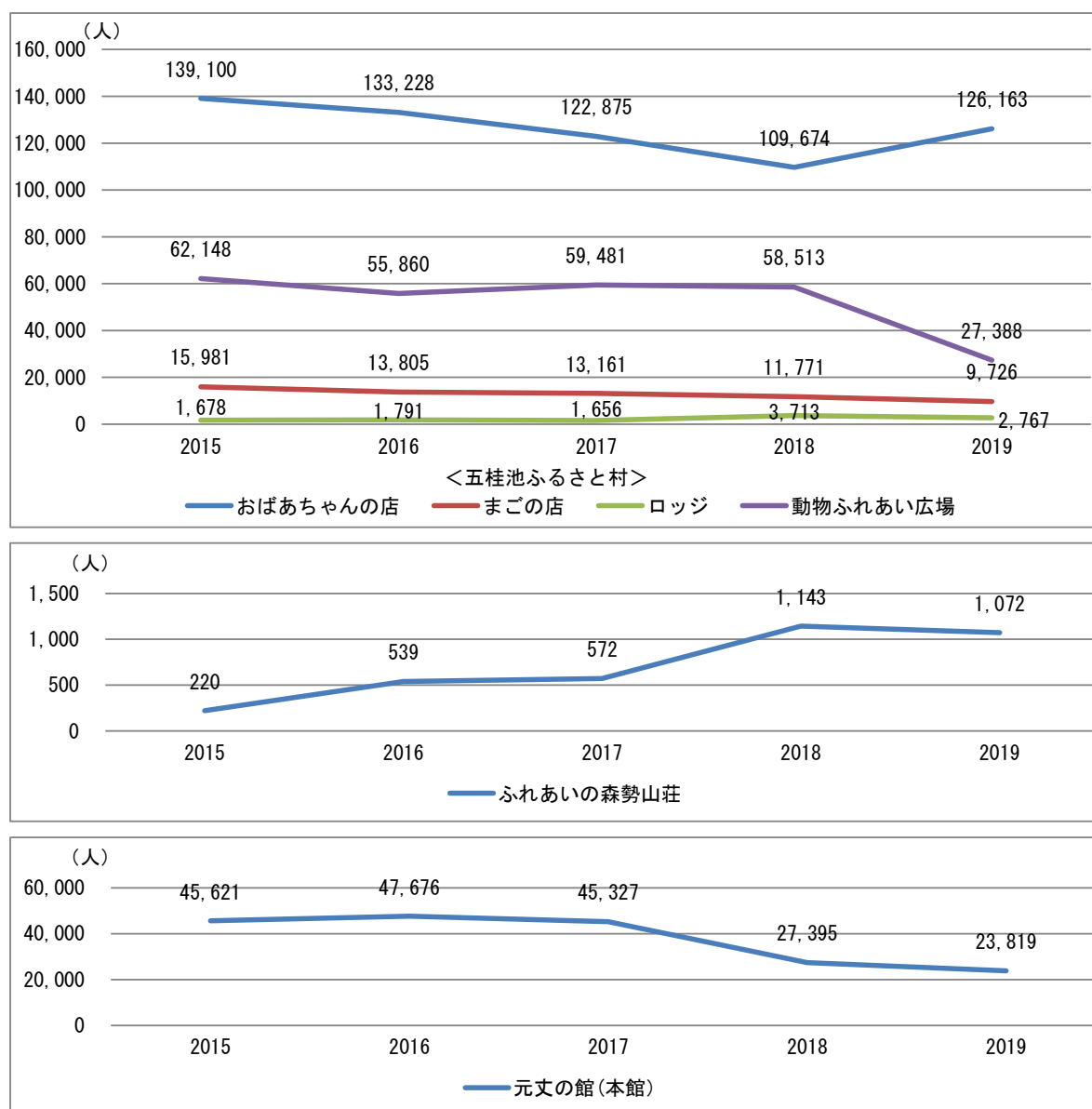


図. 利用者数の推移

③施設関連経費

▼施設関連経費は過去5年間の平均で約3,700万円（施設整備費を除くと約3,600万円）となっています。

表. 施設関連経費の推移

(千円)

	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	平均	備考
施設整備費	0	1,037	0	4,274	1,210	1,304	
その他施設整備費	0	2,378	2,229	7,867	6,472	3,789	
維持修繕費	3,779	3,511	4,639	3,373	1,550	3,370	
光熱水費・委託費等	29,786	28,530	28,840	30,990	24,165	28,462	
合計	33,565	35,456	35,709	46,503	33,397	36,926	
						(35,622)	施設整備費除く

④施設の状態

▼令和元年度実施の劣化状況調査から各施設の評価結果は下表の通りです。

▼劣化が進行していると判断される C 及び D 評価に着目すると、次のような状況となっています。

▼スポーツ施設は、建築後 30 年以上経過する施設が多いため外壁及び内部仕上げの劣化が目立ちます。外壁については「勢和体育館」が D 評価、その他のスポーツ施設が C 評価となっています。内部仕上げは「勢和東体育館」を除くスポーツ施設が C 評価です。

▼D 評価である「勢和体育館」の外壁は早急な対応が必要です。

▼「五桂池ふるさと村」、「ふれあいの森勢山荘」は A または B 評価であり良好な状況が保たれています。

▼「元丈の館(本館)」は外壁が C 評価、それ以外は A 評価となっています。

表. 施設の状態

築年数は調査年の2019基準

施設名	構造	延床面積 (㎡)	建築 年度	築年 数	劣化状況					健全度 (100点 満点)
					屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備	
1 農業者トレーニングセンター	RC	1,699.27	1982	37	B	C	C	B	B	52
2 勢和体育館	S	961.74	1985	34	B	D	C	B	B	43
3 勢和東体育館	RC	548.89	1996	23	B	C	B	B	B	65
4 勢和台スポーツセンター(管理棟)	RC	199.00	1982	37	B	C	C	B	B	52
5 五桂池ふるさと村	おばあちゃんの店	S	897.00	1999	20	B	B	B	B	75
	まごの店	S	376.74	2004	15	B	B	A	A	91
6 ふれあいの森勢山荘	W	186.27	1995	24	B	B	B	B	B	75
7 元丈の館(本館)	W	341.59	2000	19	A	C	A	A	A	83

※：五桂池ふるさと村（ロッジ）・（動物ふれあい広場）は R3～R4 度に大規模改修を予定しているため調査を行っていない

A：概ね良好 B：部分的に劣化 C：広範囲に劣化 D：早急に対応
健全度：数値が小さいほど劣化が進んでいる

（2）今後の方針

①「多気町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）」における今後の方針

＜スポーツ施設＞

- 本町には、野球場とテニスコートを有するスポーツセンターが2施設と、体育館が3施設の計5つのスポーツ施設があります。町村合併後に「多気スポーツ公園」には施設改修時にフットサルコートを新設し、「勢和台スポーツセンター」にはマウンテンバイクコースを増設し、利用種目の幅を広げています。施設管理についてはマウンテンバイクコースを除き5施設とも指定管理委託を実施しています。
- 今後は、計画的な修繕の実施や指定管理委託事業者との連絡を密にすることにより各施設の長寿命化及び安全な施設の維持管理を図り、各設備の利用状況や利用者のニーズに応じ設備の整備、更新を検討していきます。

＜観光施設＞

- 本町には自然環境を活かした観光施設、物産販売所、動物園が計5カ所あります。
- いずれの施設も施設管理、施設運営については指定管理委託事業者による管理運営を実施しています。
- そのなかで宿泊施設を備えた「五桂池ふるさと村」については当初の開園から30年以上が経過し、定期的な修繕は行っていますが、木造施設が多く老朽化が進んでいます。また、隣接する動物園についても建築後24年が経過し、その施設の形態からも他の施設に比べ設備の劣化が進行しています。近隣の施設や利用状況及び利用者のニーズを踏まえたうえで、今後のあり方及び施設更新の方針を検討していきます。
- 同じく宿泊施設を有する「ふれあいの森」についても建築後20年が経過しているため、利用状況や利用者ニーズを踏まえたうえで、今後の施設更新及び運営方針を検討していきます。
- また、物産販売、食事提供等を行う施設として「元丈の館」、「ふれあいの館」の2施設があります。指定管理事業者と連携し維持管理に努め、老朽化が進んできた場合には、その役割を検討したうえで施設の譲渡や有償貸与などそのあり方を検討していきます。

②今後の方針

- ▼「農業者トレーニングセンター」、「勢和体育館」、「勢和東体育館」、「勢和台スポーツセンター（管理棟）」は適切な維持管理・修繕により長寿命化を図っていきます。
- ▼「五桂池ふるさと村（おばあちゃんの店）」、「五桂池ふるさと村（まごの店）」は適切な維持管理・修繕により長寿命化、存続を図っていきますが、今後運営形態について検討していきます。
- ▼「五桂池ふるさと村（ロッジ）」、「五桂池ふるさと村（動物ふれあい広場）」については施設全体の再生を図るため大規模改修を実施します（R4～R5）。
- ▼「ふれあいの森勢山荘」、「元丈の館（本館）」は適切な維持管理・修繕により当面存続を図っていきますが、今後運営形態について検討していきます。

表. 施設の位置づけ・今後の方針・対策内容・目標使用年数

	施設の位置づけ	今後の方針	対策内容	目標使用年数
1.農業者トレーニングセンター	・スポーツ振興と町民の健康増進を図るため、重要な施設	・長寿命化	・適切な維持管理・修繕	今後 20 年以上使用
2.勢和体育館				
3.勢和東体育館				
4.勢和台スポーツセンター（管理棟）	・大会等の開催時にトイレや本部として利用する施設			
5.五桂池ふるさと村（おばあちゃんの店）	・本町の集客交流の拠点 ・施設全体の再生	・当面存続	・適切な維持管理・修繕 ・アンテナショップ開業に向けた施設改修 ・今後運営形態の検討	今後 20 年使用
5.五桂池ふるさと村（まごの店）	・全国初の高校生レストラン（町の PR に大きな役割） ・町の食と食文化に触れられる交流施設	・長寿命化	・適切な維持管理・修繕 ・今後運営形態の検討 ・ふるさと納税等財源の活用	
5.五桂池ふるさと村（ロッジ）	・本町の集客交流の拠点 ・施設全体の再生	・大規模改修	・大規模改修の設計、施工（R3～R5）（地方創成拠点整備交付金の活用も検討） ・今後運営形態の検討 ・民間資金の活用も検討	
5.五桂池ふるさと村（動物ふれあい広場）				
6.ふれあいの森勢山荘	・都市と農村の交流空間 ・施設全体の再生	・当面存続	・適切な維持管理・修繕 ・運営の在り方を検討 ・緑の交流空間基金を活用	今後 10 年使用
7.元丈の館（本館）	・歴史的偉人野呂元丈の功績を讃え後世に伝える施設 ・食と食文化の発信、医食同源のまちづくりを進める本町の重要施設		・適切な維持管理・修繕 ・運営の在り方を検討 ・ふるさと納税等財源の活用	今後 20 年使用

(3) 実施計画

①劣化状況評価と修繕費、改築費

▼令和元年度調査に基づく劣化状況評価（再掲）と修繕費、改築費（解体・新築費）を以下に示します。

表. 劣化状況評価と修繕費、改築費

修繕費はC・D評価のみ算出

(千円)

施設名	劣化状況					修繕費		改築費		
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備			解体	新築	計
1 農業者トレーニングセンター	B	C	C	B	B	(外壁)	25,487	70,327	550,231	620,558
						(内部)	46,128			
2 勢和体育館	B	D	C	B	B	(外壁)	45,429	31,359	312,939	344,298
						(内部)	21,287			
3 勢和東体育館	B	C	B	B	B	(外壁)	21,875	28,246	136,675	164,921
4 勢和台スポーツセンター(管理棟)	B	C	C	B	B	(外壁)	5,433			
						(内部)	20,770	9,651	90,200	99,851
5 五桂池ふるさと村	おばあちゃんの店	B	B	B	B	—	—			
	まごの店	B	B	A	A	—	—	11,840	184,162	196,002
6 ふれあいの森勢山荘	B	B	B	B	B	—	—	5,459	74,217	79,676
7 元丈の館(本館)	A	C	A	A	A	(外壁)	6,757	9,532	158,961	168,493

②今後10年間の実施計画

▼直近5年を含む今後10年間に実施する修繕工事等と事業費を以下に示します。

▼基本的に劣化状況評価のD評価は今後5年以内を目途に、C評価は今後10年以内を目途に修繕を実施するものとします。

表. 今後10年間の実施計画

(千円)

	2021 R3		2022 R4		2023 R5		2024 R6		2025 R7		2026～2030 R8～R12		
	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	備考
1.農業者トレーニングセンター											(外壁)修繕	25,487	
											(内部)修繕	46,128	
											小計	71,615	
2.勢和体育館											(内部)修繕	21,287	
3.勢和東体育館											(外壁)修繕	21,875	
4.勢和台スポーツセンター(管理棟)											(外壁)修繕	5,433	
											(内部)修繕	20,770	
											小計	26,203	
5.五桂池ふるさと村	おばあちゃんの店												
	まごの店										大規模修繕	49,001	
6.ふれあいの森勢山荘													
7.元丈の館(本館)											(外壁)修繕	6,757	
合計												196,738	

(注) 2.勢和体育館：外壁（D評価）…R2年12月補正で一部改修を実施予定

▼「五桂池ふるさと村」の「ロッジ」及び「動物ふれあい広場」において、令和4～5年度に地方創生拠点整備交付金を活用した施設の整備拡充を予定しています。

	2021 R3		2022 R4		2023 R5		2024 R6		2025 R7		2026～2030 R8～R12		
	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	備考
5.五桂池ふるさと村	ロッジ等		施工	100,000	施工	100,000							
	動物ふれあい広場		施工	100,000	施工	100,000							

③実施計画

▼今後40年間の対策事業と費用の見通し（試算）を以下に示します。

＜試算条件＞

- ・既存施設を現状と同じ延床面積で修繕・改築した場合の試算
- ・修繕費、改築費については「①劣化状況評価と修繕費、改築費」で算出した費用を採用
- ・今後10年間（～2030）については「②今後10年間の実施計画」を参照
- ・RC造等は基本的に築約20年で大規模修繕、築約40年で長寿命化改修、築約60年で大規模修繕、築約80年で改築として試算
- ・木造の建物は概ね築50年で改築として試算
- ・その他総務省が公開している「公共施設等更新費用試算ソフト」、文部科学省が公開している「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」と同様の条件・設定値で試算

長寿命化改修費（改築費×60%） 大規模改修費（改築費×25%）

表. 今後40年間の対策事業と費用の見通し

(上段: 部位修繕・大規模修繕・長寿命化改修・改築(建替え) / 下段: 対策費用 単位: 千円)

	建築年度	築年数	構造	延床面積(m ²)	今後の方針	～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	備考
						2021～2025 R3～R7	2026～2030 R8～R12	2031～2040 R13～R22	2041～2050 R23～R32	2051～2060 R33～R42	
1. 農業者トレーニングセンター	1982	38	RC	1,699	長寿命化		(外壁・内部)修繕 71,615		大規模修繕 155,140		今後20年以上使用
2. 勢和体育館	1985	35	S	962	長寿命化		(内部)修繕 21,287		大規模修繕 86,074		
3. 勢和東体育館	1996	24	RC	549	長寿命化		(外壁)修繕 21,875	長寿命化改修 98,952		大規模修繕 41,230	
4. 勢和台スポーツセンター(管理棟)	1982	38	RC	199	長寿命化		(外壁・内部)修繕 26,203		大規模修繕 24,963		
5. 五桂池ふるさと村	おばあちゃんの店	1999	21	S	897	当面存続		長寿命化改修 234,593		大規模修繕 97,747	今後20年使用
	まごの店	2004	16	S	377	長寿命化	大規模修繕 49,001		長寿命化改修 117,601		
6. ふれあいの森勢山荘	1995	25	W	186	当面存続				(築50年)改築 79,676		今後10年使用
7. 元丈の館(本館)	2000	20	W	342	当面存続		(外壁修繕) 6,757		(築50年)改築 168,493		今後20年使用
合計						0	196,738	333,546	631,947	138,977	
施設関連経費(施設整備費除く)						178,110	178,110	356,220	356,220	356,220	過去5年平均より
総計						178,110	374,848	689,766	988,167	495,197	
						2,726,088				0.68億円/年	

※: 「五桂池ふるさと村」の「ロッジ」及び「動物ふれあい広場」は含まない

部位修繕: 屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備

④今後40年間の対策費用とその効果

▼既存施設を単純更新した場合のコストと長寿命化対策した場合のコストを比較すると、長寿命化対策した場合の方が年約3,200万円削減できると試算できます。

表. 今後40年間の対策費用とその効果

(億円/年)

	現在 (過去5年平均)	今後40年間の経費		効果額 (削減額)
		既存施設を単純更新した場合のコスト ※	長寿命化対策した場合のコスト	
スポーツ・レクリエーション系施設	0.37	1.00	0.68	0.32

※: 築概ね25年で大規模修繕
築概ね50年で改築

5-8 公営住宅施設

施設類型(大分類)	中分類	施設名称	棟数	棟名称
8. 公営住宅施設	公営住宅	1 三疋田第一団地	5	三疋田第一団地A-1
				三疋田第一団地A-2
				三疋田第一団地B-1
				三疋田第一団地C-1
				三疋田第一団地C-2
		2 三疋田第二団地	6	三疋田第二団地A-1
				三疋田第二団地A-2
				三疋田第二団地B-1
				三疋田第二団地B-2
				三疋田第二団地C-1
				三疋田第二団地C-2
		3 東池上団地	1	東池上団地

(1) 個別施設の状態等

①施設概要

▼公営住宅施設は「三疋田第一団地」、「三疋田第二団地」、「東池上団地」の3施設、計12棟あります。

▼いずれの団地も建築後40年以上が経過し、老朽化が進んでいます。

表. 施設概要

	建築年度	構造	階数	延床面積	耐震性	運営形態	備考
1.三疋田第一団地							
三疋田第一団地A-1	1978	RC	1	51.16㎡	有	直営	
三疋田第一団地A-2	1978	RC	1	51.16㎡	有	直営	
三疋田第一団地B-1	1978	RC	1	51.16㎡	有	直営	
三疋田第一団地C-1	1978	RC	1	51.16㎡	有	直営	
三疋田第一団地C-2	1978	RC	1	51.16㎡	有	直営	
2.三疋田第二団地							
三疋田第二団地A-1	1980	RC	2	79.50㎡	有	直営	
三疋田第二団地A-2	1980	RC	2	79.50㎡	有	直営	
三疋田第二団地B-1	1980	RC	2	79.50㎡	有	直営	
三疋田第二団地B-2	1980	RC	2	79.50㎡	有	直営	
三疋田第二団地C-1	1980	RC	2	79.50㎡	有	直営	
三疋田第二団地C-2	1980	RC	2	79.50㎡	有	直営	
3.東池上団地							
東池上団地	1980	RC	1	51.16㎡	有	直営	

②利用状況

▼「三疋田第一団地」と「東池上団地」は全ての住居に入居しています。

▼「三疋田第二団地」については、6戸の住居のうち5戸の入居となっており、1戸が空室となっています。

表. 入居戸数の推移

(戸)

	管理戸数	入居戸数					備考
		2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	
1.三疋田第一団地	5	5	5	5	5	5	
2.三疋田第二団地	6	5	5	5	5	5	
3.東池上団地	1	1	1	1	1	1	

③施設関連経費

▼施設関連経費は過去5年間の平均で約150万円となっています。

表. 施設関連経費の推移

(千円)

	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	平均	備考
施設整備費	0	0	0	0	0	0	
その他施設整備費	0	0	0	0	0	0	
維持修繕費	878	2,496	893	2,951	340	1,512	
光熱水費・委託費等	24	24	24	24	24	24	
合計	902	2,520	917	2,975	364	1,536	
						(1,536)	施設整備費除く

④施設の状態

▼令和元年度実施の劣化状況調査から各施設の評価結果は下表の通りです。

▼劣化が進行していると判断されるC及びD評価に着目すると、次のような状況となっています。

▼「三疋田第一団地」は、全ての住棟において、屋根・屋上と外壁がA評価、内部仕上げ、電気設備、機械設備がC評価となっています。

▼「三疋田第二団地」は、全ての住棟において、屋根・屋上がC評価、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備がB評価となっています。

▼「東池上団地」は、全ての部位がB評価となっています。

表. 施設の状态

築年数は調査年の2019基準

施設名		構造	延床 面積 (㎡)	建築 年度	築年 数	劣化状況					健全度 (100点 満点)
						屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備	
1 三疋田第一団地	A-1	RC	51.16	1978	41	A	A	C	C	C	62
	A-2	RC	51.16	1978	41	A	A	C	C	C	62
	B-1	RC	51.16	1978	41	A	A	C	C	C	62
	C-1	RC	51.16	1978	41	A	A	C	C	C	62
	C-2	RC	51.16	1978	41	A	A	C	C	C	62
2 三疋田第二団地	A-1	RC	79.50	1980	39	C	B	B	B	B	72
	A-2	RC	79.50	1980	39	C	B	B	B	B	72
	B-1	RC	79.50	1980	39	C	B	B	B	B	72
	B-2	RC	79.50	1980	39	C	B	B	B	B	72
	C-1	RC	79.50	1980	39	C	B	B	B	B	72
	C-2	RC	79.50	1980	39	C	B	B	B	B	72
3 東池上団地		RC	51.16	1980	39	B	B	B	B	B	75

A：概ね良好 B：部分的に劣化 C：広範囲に劣化 D：早急に対応

健全度：数値が小さいほど劣化が進んでいる

（2）今後の方針

①「多気町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）」における今後の方針

- ・公営住宅は2団地及び1つの住宅の合計12棟の公営住宅があります。
- ・いずれの住宅も建築後35年以上が経過し、老朽化が進んでいます。今後は、維持補修等により入居者の生活に支障が生じないよう長寿命化を図りつつ、空き棟については、今後の施設の居住性や必要性等を踏まえたうえで、廃止も検討していきます。

②今後の方針

▼各住宅とも適切な維持管理・修繕により当面存続を図っていきますが、空き家棟は廃止も検討していきます。

表. 施設の位置づけ・今後の方針・対策内容・目標使用年数

	施設の位置づけ	今後の方針	対策内容	目標使用年数
1.三疋田第一団地	・住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃で貸借し、健康で文化的な生活を提供するための住宅	・当面存続	・適切な維持管理・修繕	今後10年
2.三疋田第二団地				
3.東池上団地				

(3) 実施計画

①劣化状況評価と修繕費、改築費

▼令和元年度調査に基づく劣化状況評価（再掲）と修繕費、改築費（解体・新築費）を以下に示します。

表. 劣化状況評価と修繕費、改築費

施設名		劣化状況					修繕費		改築費		
		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備			解体	新築	計
1 三疋田第一団地	A-1	A	A	C	C	C	(内部)※ (電気・機械設備)※	9,526	1,674	21,890	23,564
	A-2	A	A	C	C	C			1,674	21,890	23,564
	B-1	A	A	C	C	C			1,674	21,890	23,564
	C-1	A	A	C	C	C			1,674	21,890	23,564
	C-2	A	A	C	C	C			1,674	21,890	23,564
2 三疋田第二団地	A-1	C	B	B	B	B	(屋根)	1,669	2,404	32,945	35,349
	A-2	C	B	B	B	B			2,404	32,945	35,349
	B-1	C	B	B	B	B			2,404	32,945	35,349
	B-2	C	B	B	B	B			2,404	32,945	35,349
	C-1	C	B	B	B	B			2,404	32,945	35,349
	C-2	C	B	B	B	B			2,404	32,945	35,349
3 東池上団地		B	B	B	B	B	—	—	1,674	21,890	23,564

※：内部仕上げ、電気・機械設備の修繕費は＜面積×単価＞

（単価：「公共施設等更新費用試算ソフト」（総務省）、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」（文部科学省）の設定値）

②今後 10 年間の実施計画

▼直近 5 年を含む今後 10 年間に実施する修繕工事等と事業費を以下に示します。

▼基本的に劣化状況評価の C 評価は今後 10 年以内を目途に修繕を実施するものとします。

表. 今後 10 年間の実施計画

		2021 R3		2022 R4		2023 R5		2024 R6		2025 R7		2026～2030 R8～R12		
		対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	対策内容	事業費	備考
1.三疋田第一団地	A-1											(内部)修繕 (電気・機械)修繕	9,526	
	A-2													
	B-1													
	C-1													
	C-2													
2.三疋田第二団地	A-1											(屋根)修繕	1,669	
	A-2													
	B-1													
	B-2													
	C-1													
	C-2													
3.東池上団地														
全団地		維持修繕	1,300	維持修繕	1,300	維持修繕	1,300	維持修繕	1,300	維持修繕	1,300	維持修繕	6,500	各年1,300
合計			1,300		1,300		1,300		1,300		1,300		17,695	

③実施計画

▼今後40年間の対策事業と費用の見通し（試算）を以下に示します。

＜試算条件＞

- ・既存施設を現状と同じ延床面積で修繕・改築した場合の試算
- ・修繕費、改築費については「①劣化状況評価と修繕費、改築費」で算出した費用を採用
- ・今後10年間（～2030）については「②今後10年間の実施計画」を参照
- ・今後10年使用（概ね2026～2030まで使用）し、改築するものとして試算
- ・改築後は基本的に築約20年で大規模修繕、築約40年で長寿命化改修、築約60年で大規模修繕、築約80年で改築として試算
- ・その他総務省が公開している「公共施設等更新費用試算ソフト」、文部科学省が公開している「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」と同様の条件・設定値で試算

長寿命化改修費（改築費×60%） 大規模改修費（改築費×25%）

表. 今後40年間の対策事業と費用の見通し

(上段: 部位修繕・大規模修繕・長寿命化改修・改築(建替え) / 下段: 対策費用 単位: 千円)

		建築 年度	築 年 数	構造	延床 面積 (㎡)	今後の 方針	～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	備考
							2021～2025 R3～R7	2026～2030 R8～R12	2031～2040 R13～R22	2041～2050 R23～R32	2051～2060 R33～R42	
1.三疋田 第一団地	A-1	1978	42	RC	51	当面存続		(内部・電気・ 機械)修繕 9,526	改築 23,564		大規模改修 5,891	今後10年使用
	A-2	1978	42	RC	51	当面存続			改築 23,564		大規模改修 5,891	
	B-1	1978	42	RC	51	当面存続			改築 23,564		大規模改修 5,891	
	C-1	1978	42	RC	51	当面存続			改築 23,564		大規模改修 5,891	
	C-2	1978	42	RC	51	当面存続			改築 23,564		大規模改修 5,891	
2.三疋田 第二団地	A-1	1980	40	RC	80	当面存続		(屋根)修繕 1,669	改築 35,349		大規模改修 8,837	今後10年使用
	A-2	1980	40	RC	80	当面存続			改築 35,349		大規模改修 8,837	
	B-1	1980	40	RC	80	当面存続			改築 35,349		大規模改修 8,837	
	B-2	1980	40	RC	80	当面存続			改築 35,349		大規模改修 8,837	
	C-1	1980	40	RC	80	当面存続			改築 35,349		大規模改修 8,837	
	C-2	1980	40	RC	80	当面存続			改築 35,349		大規模改修 8,837	
3.東池上団地		1980	40	RC	51	当面存続			改築 23,564		大規模改修 5,891	今後10年使用
合計							0	11,195	353,476	0	88,369	
施設関連経費(施設整備費除く)							7,680	7,680	15,360	15,360	15,360	過去5年平均より (内 維持修繕費 各年1,300)
総計							7,680	18,875	368,836	15,360	103,729	
							514,480				0.13億円/年	

部位修繕: 屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備

④今後40年間の対策費用とその効果

▼公営住宅については、全ての住棟を今後10年以降改築とする試算のため、既存施設を単純更新した場合と長寿命化対策したコストはほぼ同額となります。

表. 今後40年間の対策費用とその効果

	現在 (過去5年平均)	今後40年間の経費		(億円/年)
		既存施設を単純更新 した場合のコスト ※	長寿命化対策した 場合のコスト	効果額 (削減額)
公営住宅施設	0.02	0.13	0.13	－

※：築概ね25年で大規模修繕
築概ね50年で改築

5-9 実施計画まとめ

①実施計画まとめ

▼今後40年間の費用の見通しのまとめ（合計）を以下に示します。

▼直近5年間では約1億6,000万円（勢和振興事務所、美化センター、五桂池ふるさと村ロ
ッジ・動物ふれあい広場を含めると約11億5,100万円）、6～10年では約23億6,000
万円の対策費が必要です。

表. 実施計画まとめ

(千円)

		～5年 2021～2025 R3～R7	6～10年 2026～2030 R8～R12	11～20年 2031～2040 R13～R22	21～30年 2041～2050 R23～R32	31～40年 2051～2060 R33～R42	備考
1. 行政系施設	対策費 計	129,847	133,460	0	0	1,830,164	
	施設関連経費(施設整備費除く)	61,920	61,920	123,840	123,840	123,840	過去5年平均より
	総計	191,767	195,380	123,840	123,840	1,954,004	
2,588,831							0.65億円/年
2. 学校教育系施設	対策費 計	24,543	1,410,768	679,404	1,143,255	4,521,774	
	施設関連経費(施設整備費除く)	284,970	284,970	569,940	569,940	569,940	過去5年平均より
	総計	309,513	1,695,738	1,249,344	1,713,195	5,091,714	
10,059,504							2.51億円/年
3. 子育て支援施設	対策費 計	6,025	0	843,482	492,492	1,582,745	
	施設関連経費(施設整備費除く)	109,615	109,615	219,230	219,230	219,230	過去5年平均より
	総計	115,640	109,615	1,062,712	711,722	1,801,975	
3,801,664							0.95億円/年
4. 保健・福祉施設	対策費 計	0	88,128	1,098,178	0	518,795	
	施設関連経費(施設整備費除く)	168,065	168,065	336,130	336,130	336,130	過去5年平均より
	総計	168,065	256,193	1,434,308	336,130	854,925	
3,049,621							0.76億円/年
5. 町民文化系施設	対策費 計	0	426,655	2,099,076	84,193	811,696	
	施設関連経費(施設整備費除く)	114,430	114,430	228,860	228,860	228,860	過去5年平均より
	総計	114,430	541,085	2,327,936	313,053	1,040,556	
4,337,061							1.08億円/年
6. 社会教育系施設	対策費 計	0	93,407	313,746	245,405	130,727	
	施設関連経費(施設整備費除く)	40,665	40,665	81,330	81,330	81,330	過去5年平均より
	総計	40,665	134,072	395,076	326,735	212,057	
1,108,604							0.28億円/年
7. スポーツ・レクリ エーション系施設	対策費 計	0	196,738	333,546	631,947	138,977	
	施設関連経費(施設整備費除く)	178,110	178,110	356,220	356,220	356,220	過去5年平均より
	総計	178,110	374,848	689,766	988,167	495,197	
2,726,088							0.68億円/年
8. 公営住宅施設	対策費 計	0	11,195	353,476	0	88,369	
	施設関連経費(施設整備費除く)	7,680	7,680	15,360	15,360	15,360	過去5年平均より
	総計	7,680	18,875	368,836	15,360	103,729	
514,480							0.13億円/年
全 体	対策費 計	160,415	2,360,351	5,720,907	2,597,291	9,623,249	
	施設関連経費(施設整備費除く)	965,455	965,455	1,930,910	1,930,910	1,930,910	
	総計	1,125,870	3,325,806	7,651,817	4,528,201	11,554,159	
28,185,853							7.04億円/年

1. 行政系施設	勢和振興事務所(勢和公民館との複合施設) 建設	190,000
	美化センター 解体	400,600
7. スポーツ・レクリエーション系施設	五桂池ふるさと村 ロッジ・動物ふれあい広場 大規模改修	400,000
	計	990,600
全 体	対策費 総計	1,151,015

②今後40年間の対策費用とその効果（まとめ）

▼既存施設を単純更新した場合のコストと長寿命化対策した場合のコストを比較すると、長寿命化対策した場合の方が年約1億2,200万円削減できると試算できます。

表. 今後40年間の対策費用とその効果（まとめ）

	現在 (過去5年平均)	今後40年間の経費		(億円/年)
		既存施設を単純更新 した場合のコスト ※	長寿命化対策した 場合のコスト	効果額 (削減額)
1. 行政系施設	0.19	0.70	0.65	0.05
2. 学校教育系施設	0.68	3.02	2.51	0.51
3. 子育て支援施設	0.22	1.03	0.95	0.08
4. 保健福祉施設	0.34	0.90	0.76	0.14
5. 町民文化系施設	0.23	1.11	1.08	0.03
6. 社会教育系施設	0.08	0.37	0.28	0.09
7. スポーツ・レクリエーション系施設	0.37	1.00	0.68	0.32
8. 公営住宅施設	0.02	0.13	0.13	-
合計	2.13	8.26	7.04	1.22

※：築概ね25年で大規模修繕
築概ね50年で改築

